

次期総合計画策定にむけた まんのう町の現状調査報告書

平成 30 年 3 月
まんのう町

目次

第1章 調査の趣旨	1
第2章 調査・分析結果	2
第1節 国勢調査の分析	2
1 人口の推移と推計	2
2 地区別人口	3
3 未婚	5
4 離婚	6
5 就業	7
6 失業	8
7 在住外国人	9
第2節 施策目標ごとの統計データ	10
<施策目標1> 生活環境の保全	10
<施策目標2> 自然環境の保全と活用	11
<施策目標3> 学校教育の充実	12
<施策目標4> 生涯学習の支援	13
<施策目標5> スポーツ活動の支援	14
<施策目標6> 人権尊重社会の実現	15
<施策目標7> 男女共同参画の推進	16
<施策目標8> 地域間交流・国際交流の推進	16
<施策目標9> 芸術・文化の振興	16
<施策目標10> 健康づくりの推進	17
<施策目標11> 地域医療体制の充実	19
<施策目標12> 地域福祉の推進	20
<施策目標13> 次世代育成の支援	20
<施策目標14> 高齢者福祉の充実	21
<施策目標15> 障がい者福祉の充実	22
<施策目標16> 低所得者福祉・勤労者福祉の充実	22
<施策目標17> 社会保険（国保、介護）の安定化	23
<施策目標18> 交通網の整備・充実	24
<施策目標19> 生活基盤の整備	24
<施策目標20> 住環境の整備	27
<施策目標21> 生活安全対策の充実	28
<施策目標22> 情報・通信基盤の整備と活用	30
<施策目標23> 農林業の振興	31
<施策目標24> 商工業の振興と雇用創出	32
<施策目標25> 観光の振興	32
<施策目標26> 行財政の健全化	33

<施策目標 27> 住民自治の確立と支援.....	33
<施策目標 28> 協働・連携の推進.....	33

第1章 調査の趣旨

まんのう町は、平成18年3月に、琴南町、満濃町、仲南町が合併して誕生しました。合併協議会による新町建設計画をもとに、平成20年3月に「まんのう町総合計画」（基本構想・前期基本計画）を、平成25年3月に同後期基本計画を策定し、将来像「元気まんまん まんのう町ー改革と協働、輝きのまちー」をめざしてまちづくりを進めています。

また、地方の活性化に国を挙げて取り組むために、平成26年に「まち・ひと・しごと創生法」が施行され、本町においても、平成27年度に、平成31年度までを計画期間とする「まんのう町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、総合計画と併行して推進しています。

このような中で、本町では、「まんのう町まち・ひと・しごと創生総合戦略」との連携を保つために、本町では、後期基本計画の推進期間を平成31年度まで延長するとともに、新しい総合計画を、平成31年度に策定する予定です。

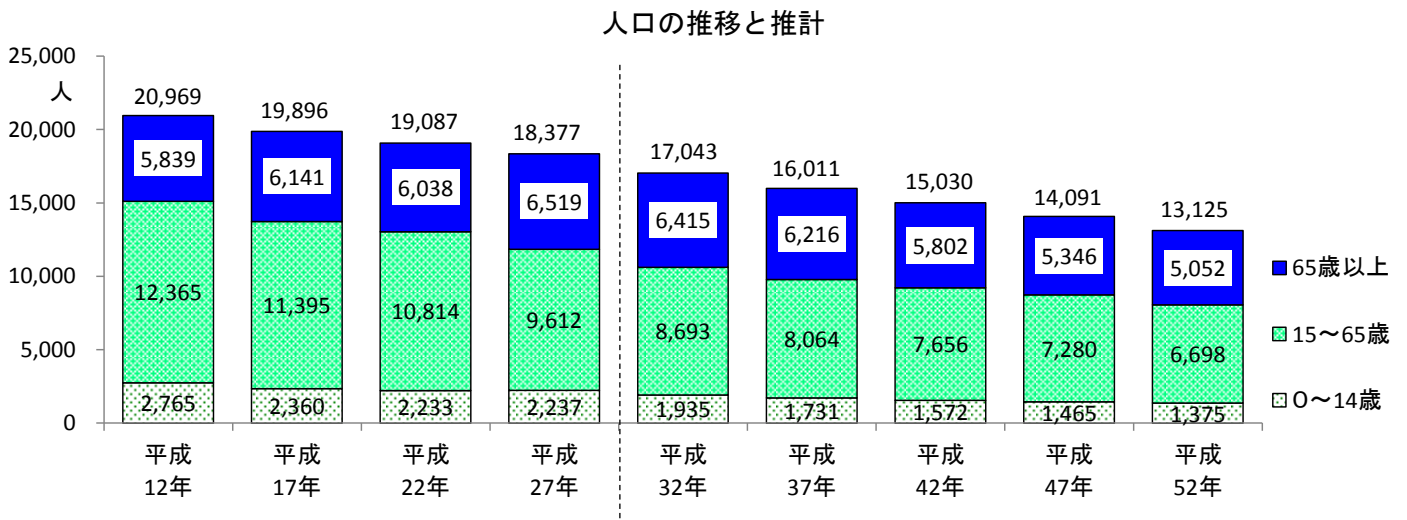
「次期総合計画策定にむけたまんのう町の現状調査報告書」は、こうした状況のもと、国勢調査をはじめとする各種統計データの現状や推移を調査・分析し、次期総合計画の策定にむけた基礎資料とするために作成します。

第2章 調査・分析結果

第1節 国勢調査の分析

1 人口の推移と推計

本町の国勢調査ベースの人口は減少傾向で推移しており、このままの傾向で推移すると、次期総合計画の終了時期である平成42年には15,000人前後になると推計されます。

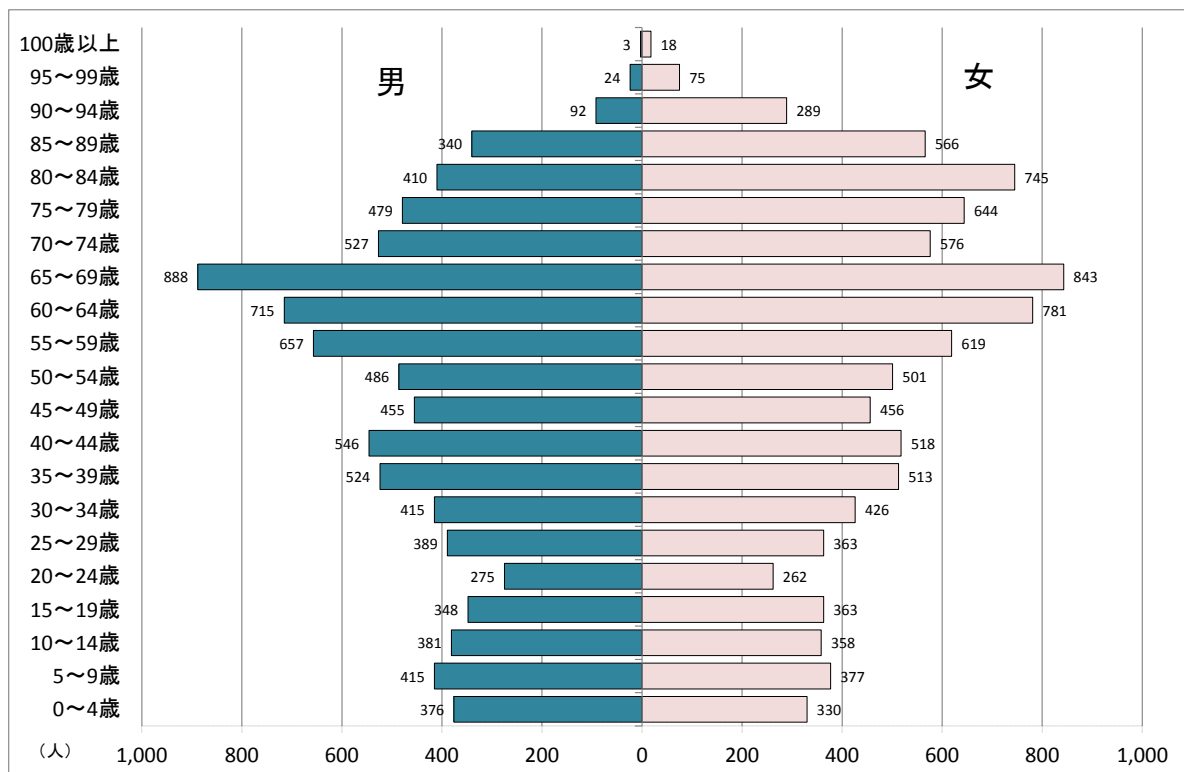


※平成27年は年齢不詳が9人いる。

資料：厚生労働省「介護保険見える化システム」をもとに作成（国勢調査ベース）

平成27年の人口ピラミッドをみると、65～69歳が男女とも多い一方、若い世代、とりわけ20代前半が極端に少なくなっています。

平成27年の人口ピラミッド



資料：国勢調査

2 地区別人口

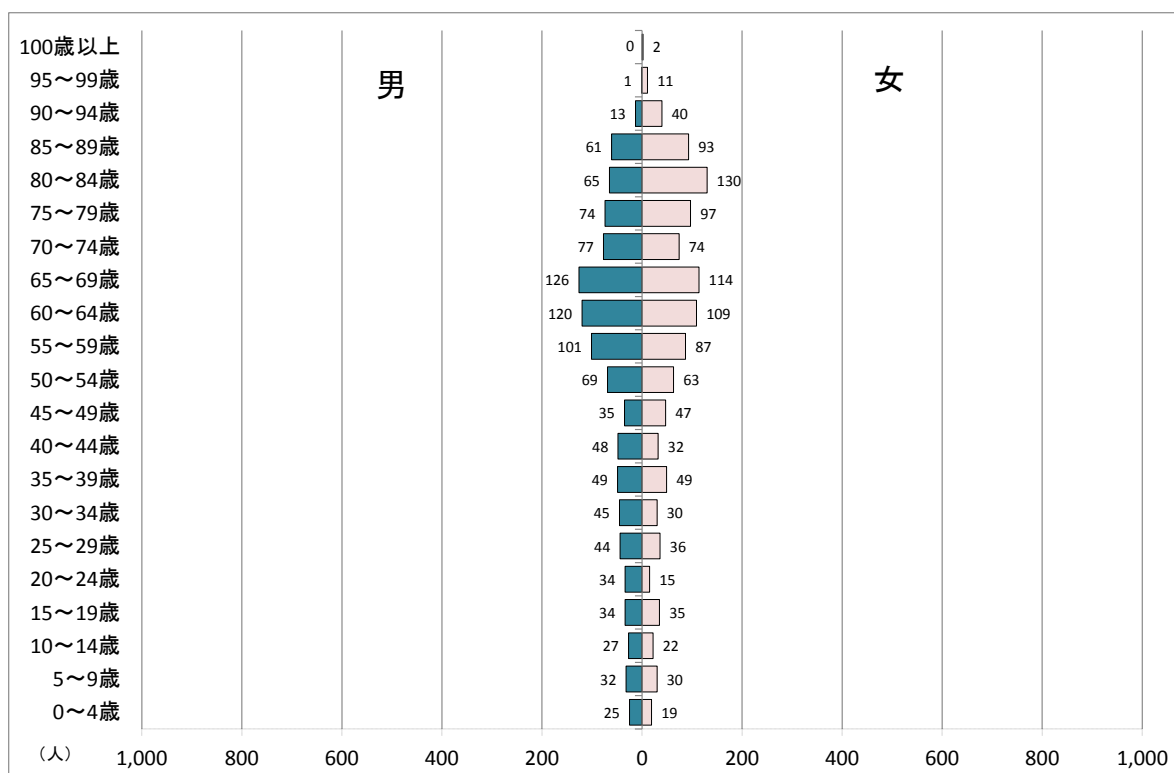
平成27年国勢調査によると、本町の地区別人口は、琴南地区が2,216人、満濃地区が12,176人、仲南地区が3,985人となっています。

10年前の平成17年国勢調査では、琴南地区が2,866人、満濃地区が12,472人、仲南地区が4,558人であったため、3地区とも人口が減少していますが、特に、琴南地区の減少率が高くなっています。

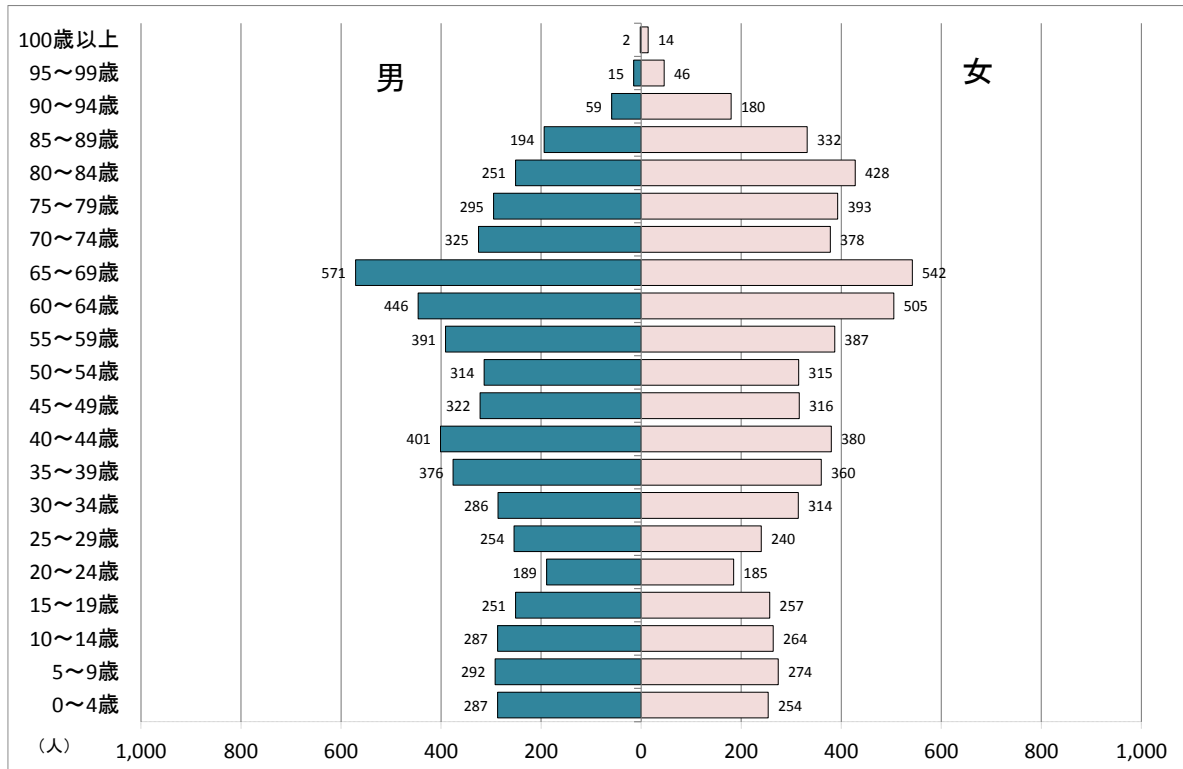
国勢調査人口の10年前との比較

	17年人口	27年人口	増減率
琴南地区	2,866	2,216	-23%
満濃地区	12,472	12,176	-2%
仲南地区	4,558	3,985	-13%

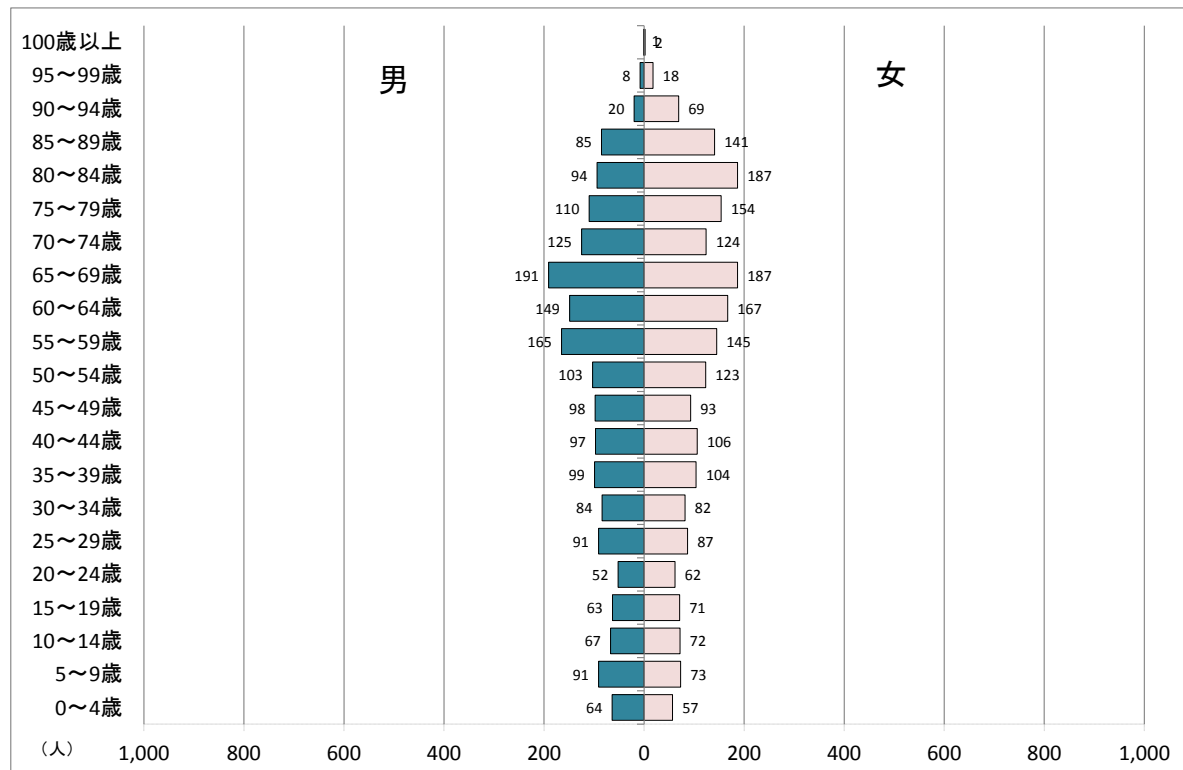
平成27年の人口ピラミッド〔琴南地区〕



平成 27 年の人口ピラミッド〔満濃地区〕



平成 27 年の人口ピラミッド〔仲南地区〕



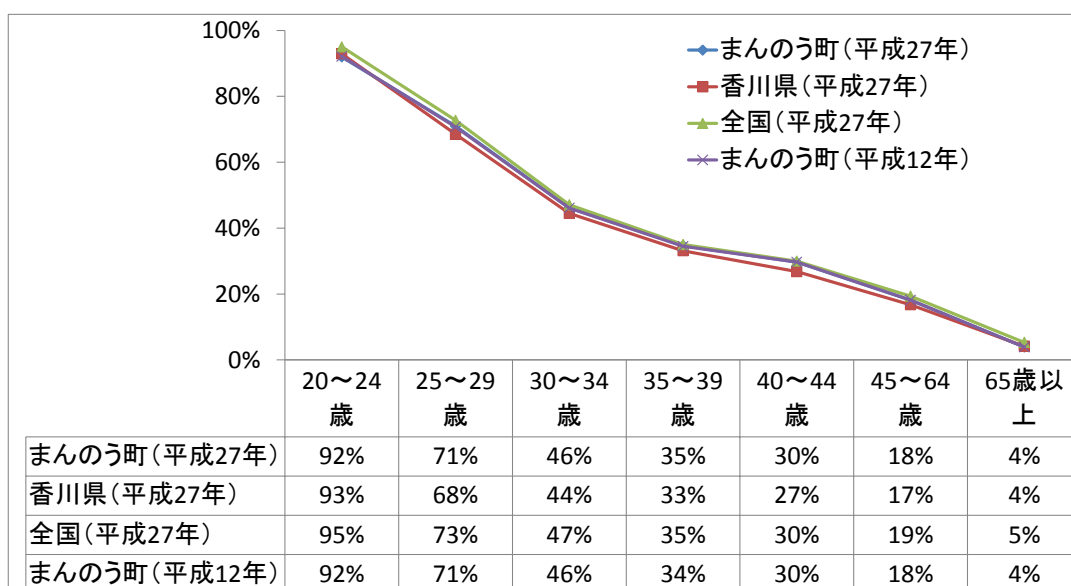
資料：国勢調査

3 未婚

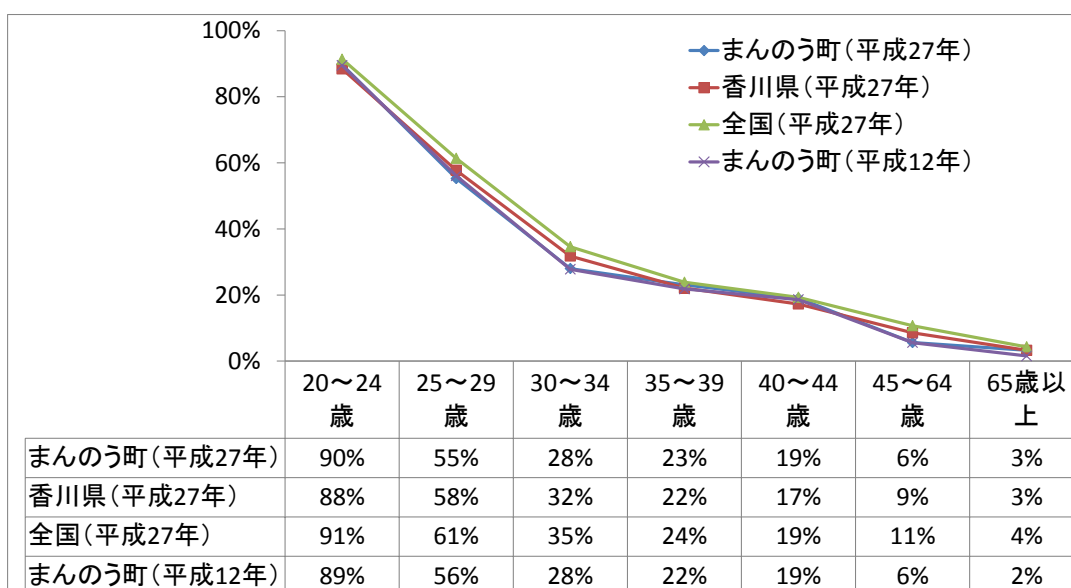
平成27年国勢調査によると、本町の年齢区分ごとの未婚者（死別・離別を除いた一度も結婚していない人）の割合は、ほぼ全国平均や県平均並みですが、40代前半においても、男性で3割、女性で2割を占め、晩婚化・非婚化の状況がみてとれます。平成12年の値と比較すると、ほぼ同じ割合となっており、晩婚化・非婚化は、15年前とほぼ同じ状況と言えます。

年齢区分ごとの未婚者の割合

〔男性〕



〔女性〕



資料：国勢調査

4 離婚

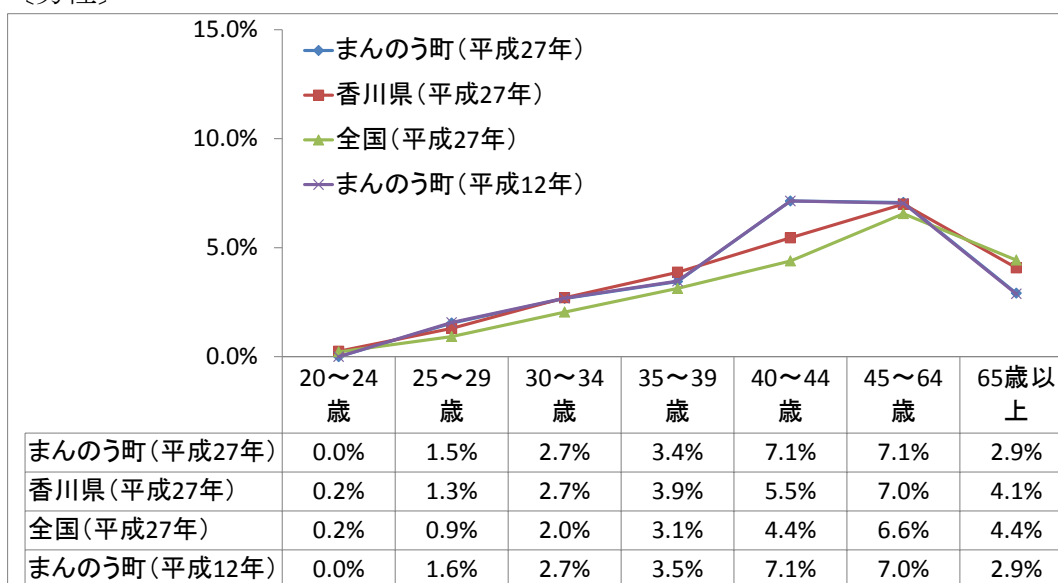
同じく平成27年国勢調査によると、本町の年齢区分ごとの離婚者の割合（再婚者は除く）は、40代前半で男性が約7%、女性が約8%など、下の図の通りです。

全国平均や県平均と比べると、男性の40代前半、女性の65歳以上で離婚者の割合が高いのが目立ちます。

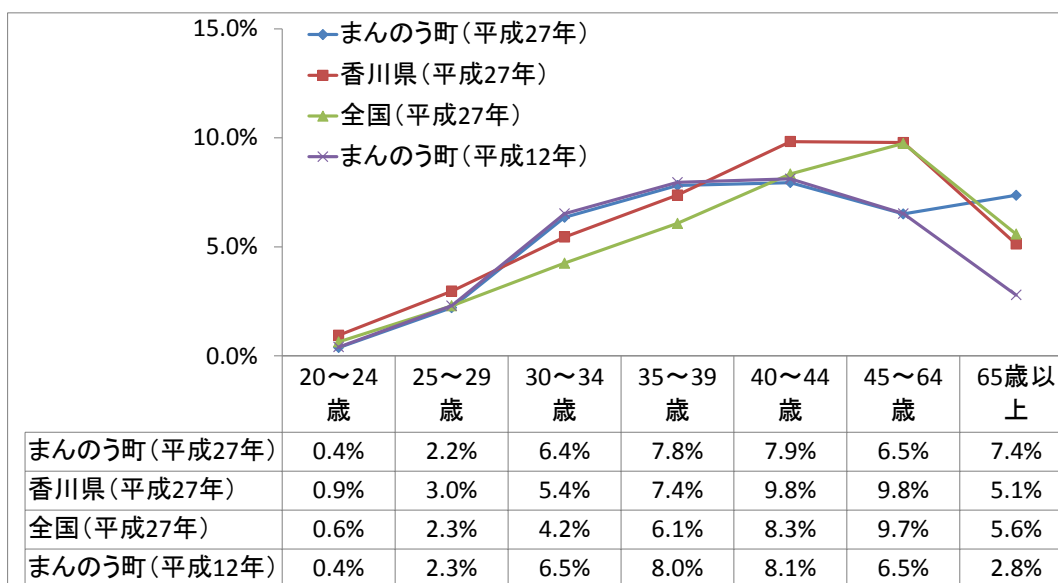
晩婚・非婚や離婚は、第一義的には個人のプライベートの問題ですが、それに伴う少子化や本人の生活のしづらさなどは地域で改善・解決を図っていくべき課題と言えます。

年齢区分ごとの離婚者の割合

〔男性〕



〔女性〕



資料：国勢調査

5 就業

平成27年国勢調査によると、まんのう町民の就業者は男性が4,889人、女性が3,948人です。

産業分類別の構成比をみると、男性は製造業が22%、建設業が15%、農林水産業が14%などとなっており、女性は医療・福祉が25%、卸売業・小売業が14%、製造業が14%などとなっています。

全国の構成比と比較すると、男性の若年層（15～39歳）で製造業の構成比が高いこと、女性の医療・福祉の構成比が高いこと、65歳以上の男女で農林水産業の構成比が高いことが、本町の特徴です。

産業分類別就業人口と構成比（平成27年国勢調査）

単位：人、%

〔まんのう町男性〕

	就業者 合計	農林 水産業	建設業	製造業	卸売 業・小 売業	宿泊業・ 飲食サー ビス業	生活関 連サービ ス業・娯 楽業	医療・ 福祉	公務	その他
合計	4,889	701	728	1,075	505	98	111	256	223	1,192
15～39歳	1,414	48	220	453	156	31	44	113	76	273
40～64歳	2,447	166	379	538	274	47	51	114	138	740
65歳以上	1,028	487	129	84	75	20	16	29	9	179
合計		14%	15%	22%	10%	2%	2%	5%	5%	24%
15～39歳		3%	16%	32%	11%	2%	3%	8%	5%	19%
40～64歳		7%	15%	22%	11%	2%	2%	5%	6%	30%
65歳以上		47%	13%	8%	7%	2%	2%	3%	1%	17%

〔まんのう町女性〕

	就業者 合計	農林 水産業	建設業	製造業	卸売 業・小 売業	宿泊業・ 飲食サー ビス業	生活関 連サービ ス業・娯 楽業	医療・ 福祉	公務	その他
合計	3,948	433	134	564	572	231	205	990	100	719
15～39歳	1,172	24	37	197	179	58	61	353	36	227
40～64歳	2,056	119	66	310	309	113	87	571	61	420
65歳以上	720	290	31	57	84	60	57	66	3	72
合計		11%	3%	14%	14%	6%	5%	25%	3%	18%
15～39歳		2%	3%	17%	15%	5%	5%	30%	3%	19%
40～64歳		6%	3%	15%	15%	5%	4%	28%	3%	20%
65歳以上		40%	4%	8%	12%	8%	8%	9%	0%	10%

〔参考〕構成比の全国値

		農林 水産業	建設業	製造業	卸売業・ 小売業	宿泊業・飲 食サービス 業	生活関連 サービス 業・娯楽業	医療・福 祉	公務	その他
男性	合計	4%	11%	20%	13%	4%	2%	5%	4%	36%
	15～39歳	2%	9%	22%	14%	5%	3%	6%	5%	34%
	40～64歳	3%	12%	21%	12%	3%	2%	5%	5%	37%
	65歳以上	15%	11%	12%	13%	4%	4%	5%	1%	36%
女性	合計	3%	3%	11%	18%	8%	5%	21%	2%	29%
	15～39歳	1%	2%	11%	18%	8%	5%	22%	2%	30%
	40～64歳	3%	3%	12%	19%	7%	4%	22%	2%	29%
	65歳以上	14%	3%	9%	16%	10%	7%	11%	1%	27%

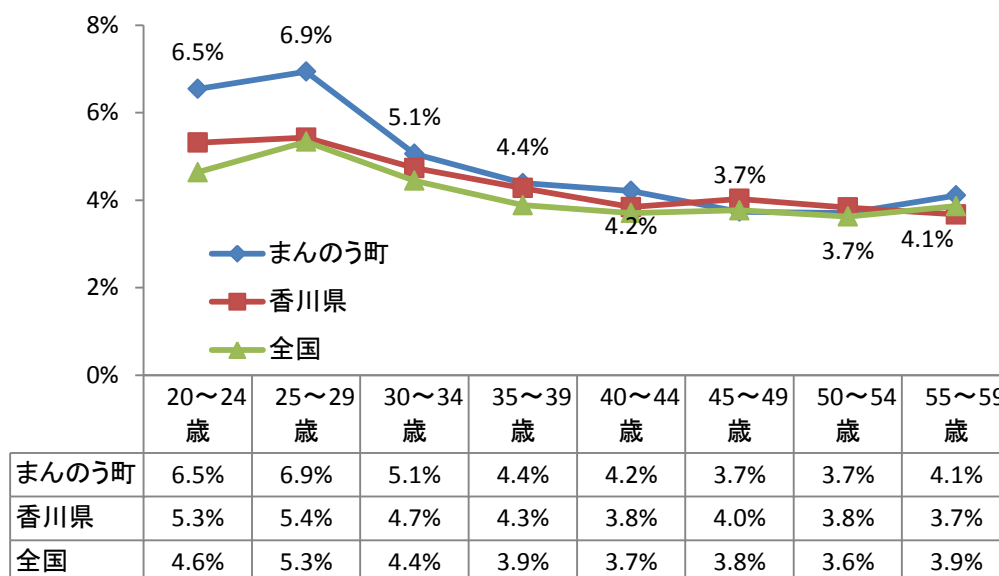
6 失業

平成27年国勢調査で本町住民の年齢別・男女別の失業の状況をみると、男性では、20代後半の男性の6.9%、女性の4.4%が失業中であるなど、若年層の失業が相当数あることが分かり、全国平均や県平均よりも高い傾向もみられ、若者の就業の促進が本町でも課題であると言えます。

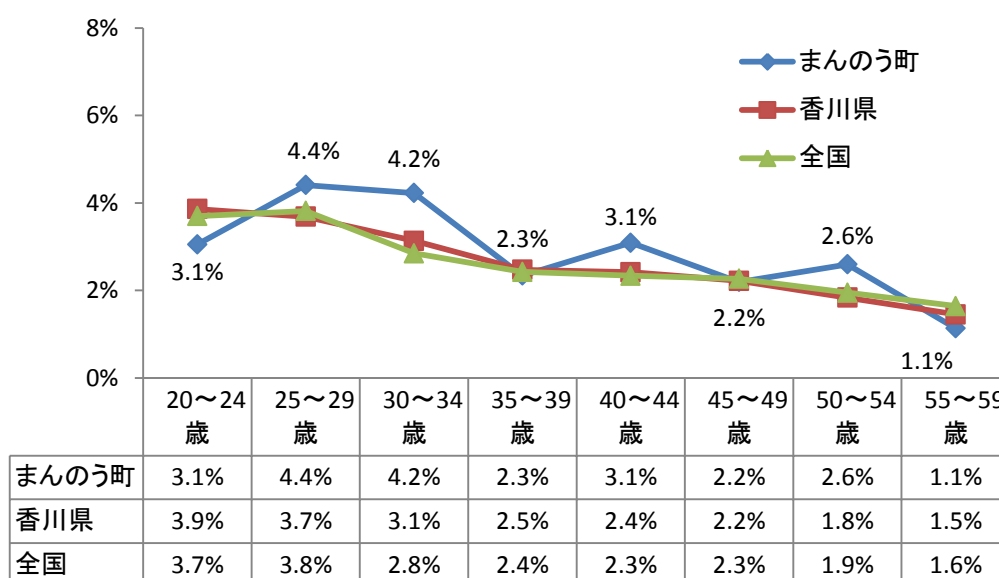
失業率は、年齢が上がるほど低下し、若年層以外では、男女とも、全国平均や県平均並みとなっていますが、女性では、年代によっては全国平均や県平均より高い年代もみられます。

年齢別・男女別にみた失業率（平成27年国勢調査）

〔男性〕



〔女性〕



※完全失業者数/当該年齢人口であり、分母には、家事など非労働力人口も含まれます。

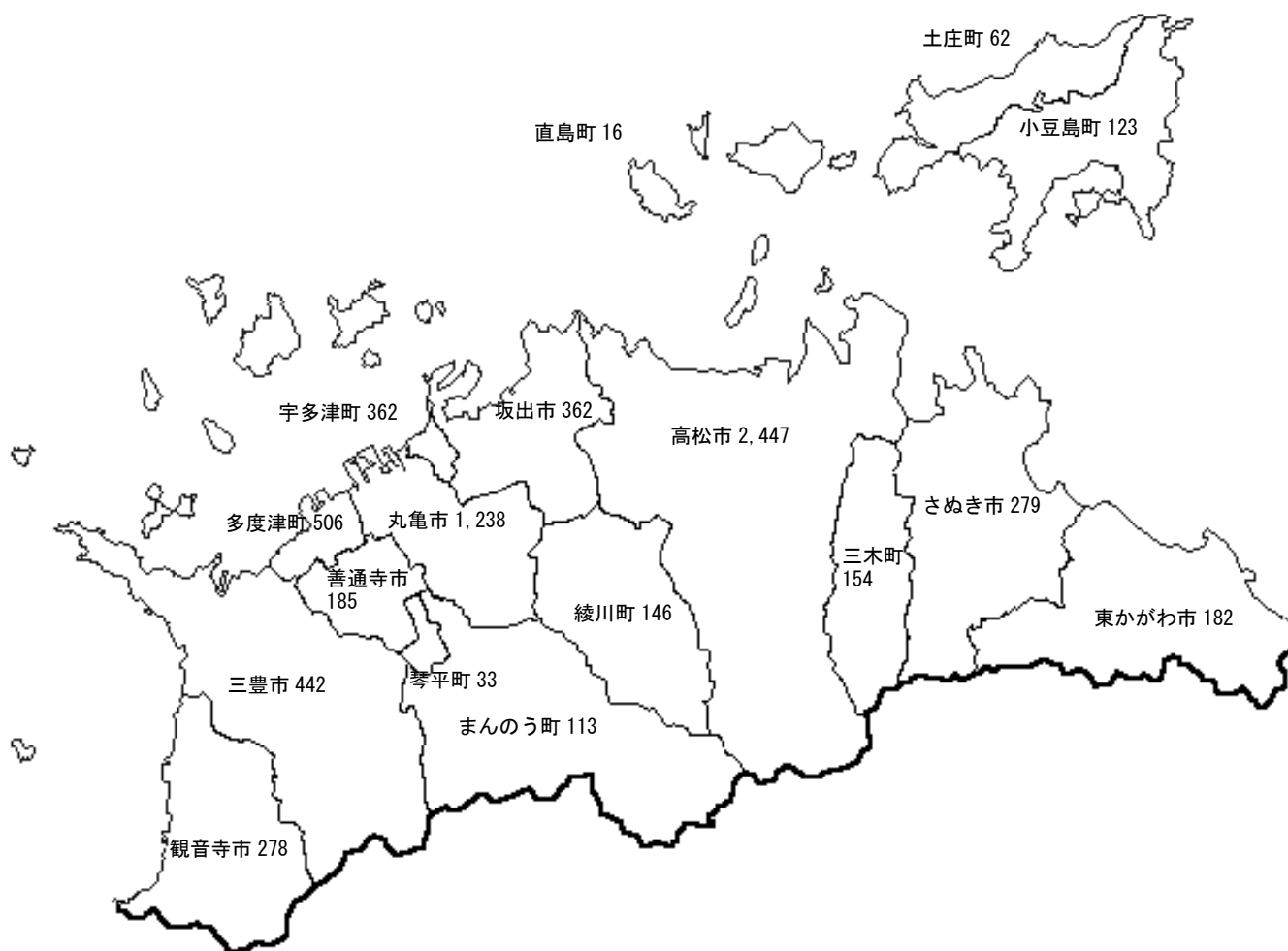
資料：国勢調査

7 在住外国人

平成27年国勢調査によると、本町の在住外国人人口は113人で、香川県全体が6,928人に及ぶのに対し、県内では比較的少なくなっています。国籍では、中国が72人と、全体の約7割を占めます。

近隣では、丸亀市に1,000人以上、多度津町に500人以上の在住外国人がいる状況です。

県内市町村の在住外国人数（平成27年国勢調査）



〔国籍の内訳〕

	まんのう町	香川県
中国	72	2,751
フィリピン	11	990
韓国, 朝鮮	8	694
ブラジル	7	139
ベトナム	4	586
インドネシア	3	325
アメリカ	2	121
タイ	2	106
その他	4	1,216
合計	113	6,928

第2節 施策目標ごとの統計データ

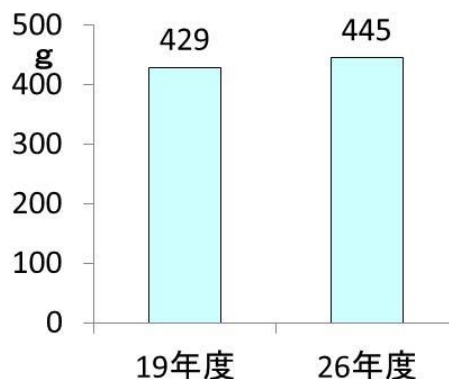
第2節では、各種公統計や、それらを取りまとめた「まんのう町データブック」、さらには「まんのう町決算書」の「主要施策の成果報告」などをもとに、総合計画の施策目標ごとに、関係する統計データを整理します。

<施策目標1> 生活環境の保全

まんのう町の1人1日当たりごみ排出量は400g台で、微増で推移するも、香川県一少なくて、全国平均の半分程度と、極めて少なくなっています。

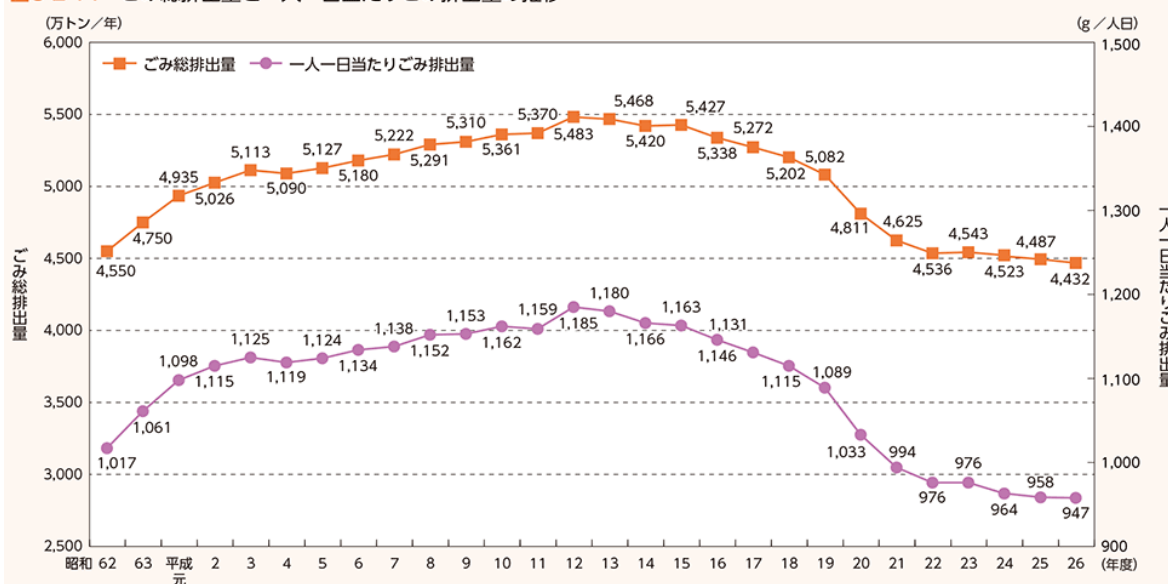
全国的には、近年、1人1日当たりごみ排出量が減少傾向で推移しており、まんのう町においても、減量化・資源化の一層の推進が求められます。

まんのう町の1人1日当たりのごみ排出量



〔参考〕わが国のごみ排出量の推移

図3-2-14 ごみ総排出量と一人一日当たりごみ排出量の推移

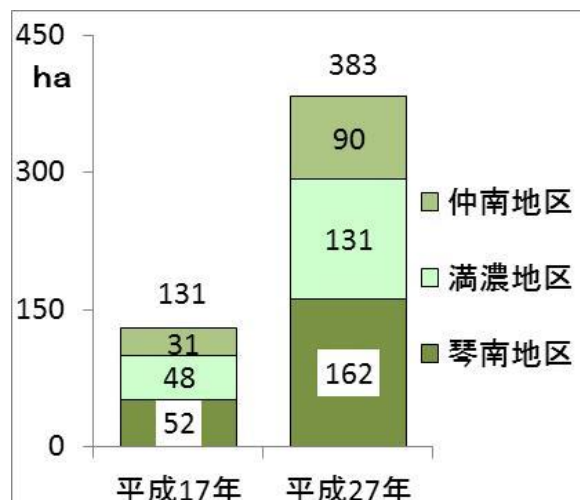


資料：平成28年版環境白書・循環型社会白書・生物多様性白書

＜施策目標2＞ 自然環境の保全と活用

耕作放棄地面積の推移をみると、過去10年で大幅に増加しています。や荒廃森林が一層増加し、適正管理が求められます。

まんのう町の耕作放棄地面積



まんのう町を流れる土器川、金倉川の水質は、おおむね環境基準を達成している状況です。

中讃地域の河川のBODの状況

環境基準達成状況

環境基準類型 あてはめ水域	類 型	達成状況(年度)			BOD年平均值 (mg/L)		
		25	26	27	26	27	前年度 比較
青海川	A	○	○	○	1.0	0.9	横ばい
綾川	A	×	×	○	1.8	1.5	横ばい
大東川上流	B	×	×	○	5.2	2.8	改善
大東川下流	C	○	○	○	3.2	2.3	やや改善
土器川	A	×	○	○	1.5	1.4	横ばい
西汐入川	D	○	○	○	3.5	3.1	横ばい
金倉川	A	×	○	○	1.6	1.3	横ばい
桜川	B	×	×	○	2.7	2.1	やや改善
弘田川	A	×	×	×	2.5	2.0	やや改善

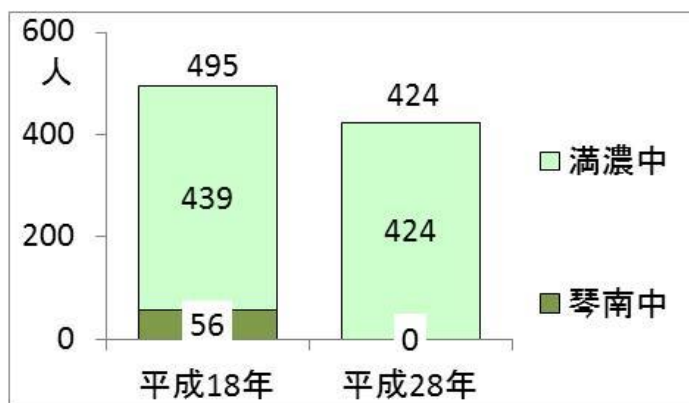
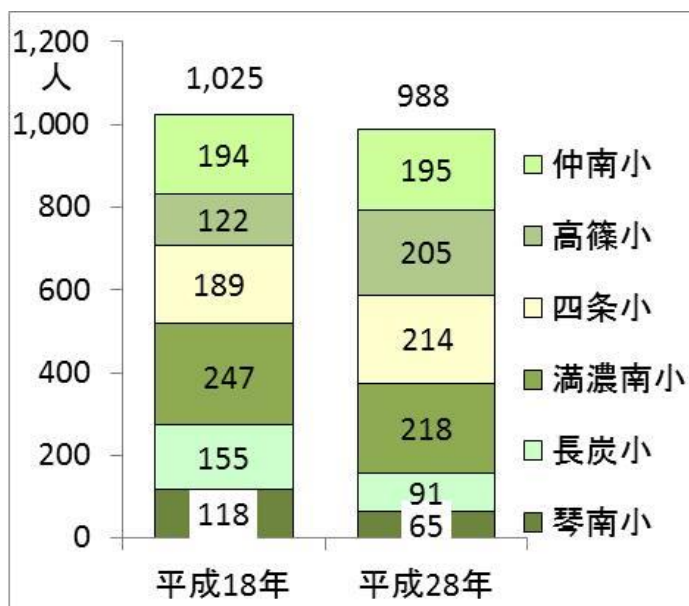
資料：香川県環境白書（平成28年度版）

<施策目標3> 学校教育の充実

小学校児童数は10年で4%減、
中学校生徒数は15%減となっています。

学校別にみると、小学校は、高篠小、四条小、仲南小は増加している一方。長炭小、琴南小では著しい減少となっています。

小中学校の児童・生徒数



＜施策目標4＞ 生涯学習の支援

平成25年6月に開館した町立図書館の利用状況は、堅調に推移しています。

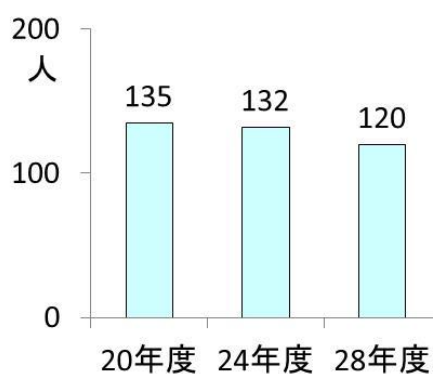
まんのう町立図書館の来館者数・図書貸出冊数



4～6年生がボランティアの協力で、1週間の共同生活を送る「通学合宿」は、家庭・学校・地域が連携した本町の個性ある生涯学習の取り組みとして定着しています。

参加児童数は、子どもの数の減少により、やや減少傾向にあります。

通学合宿事業の参加児童数

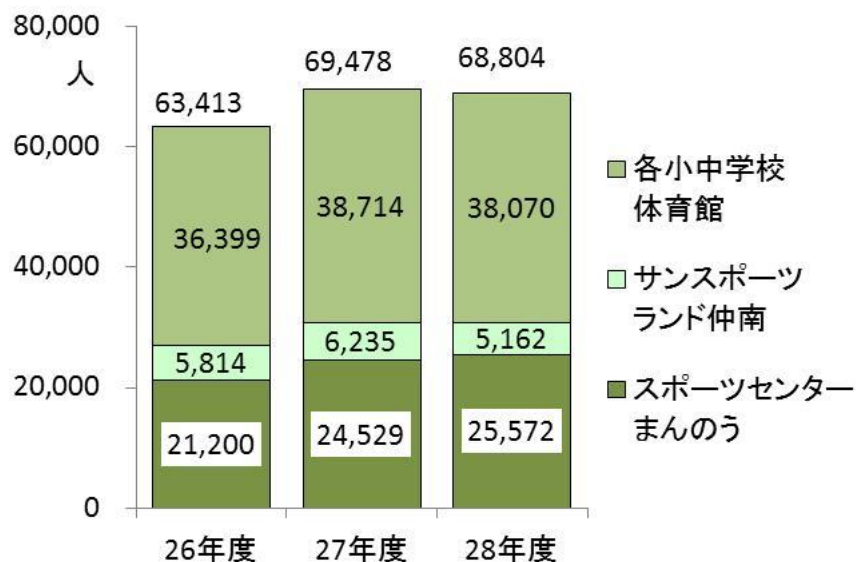


＜施策目標5＞ スポーツ活動の支援

本町では、既存のサンスポーツランド仲南や各小中学校体育館などを活用し、生涯スポーツ活動が展開されてきたのに加え、平成25年4月にはスポーツセンターまんのうが開設され、ミズノ(株)の運営により各種事業も一層充実が図られました。

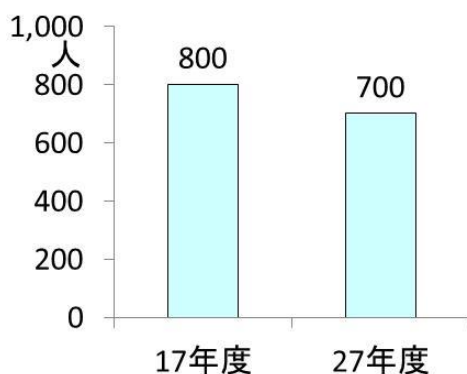
利用者数も堅調に推移しています。

各スポーツ施設の年間延利用者数

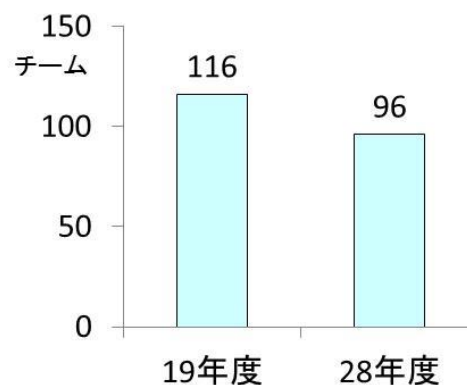


合併後も琴南地区体育祭や仲南地区バレーボール大会は継続されており、人口が減少する中、スポーツを通じた地域活性化に寄与していますが、体育祭参加者数、バレーボール大会の参加チーム数ともに減少傾向にあります。

琴南地区体育祭の参加者数



仲南地区バレーボール大会の参加チーム数

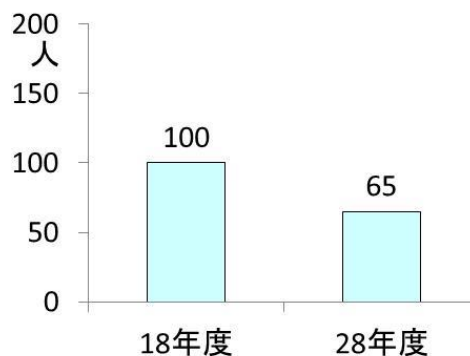


＜施策目標6＞ 人権尊重社会の実現

「人権尊重社会の実現」にむけては、人権対策課を中心に、町主催の人権講座、長尾会館の運営など各種事業を継続するほか、教育委員会においても人権教育を継続実施しています。

18年度と28年度のみでの比較ですが、町主催の人権講座の参加者数は減っており、長尾会館の来館者数は横ばいとなっています。

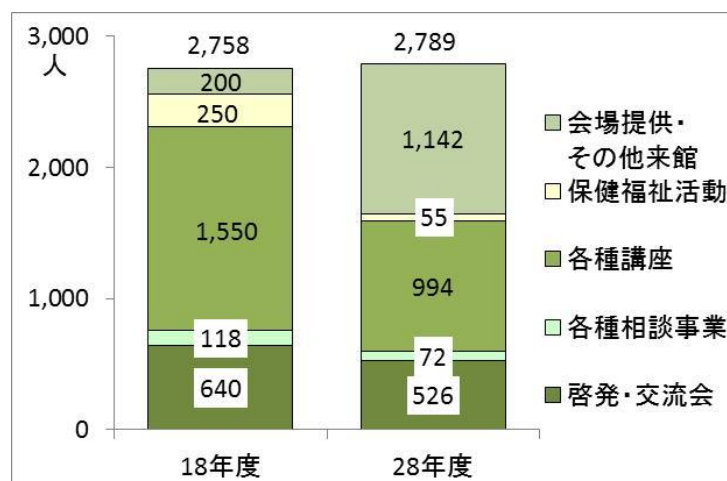
町主催の人権講座の参加者数



資料：主要施策の成果に関する報告書

(18年度は「人権啓発講演会」、28年度は「人権・同和研修会」)

長尾会館の来館者数



資料：主要施策の成果に関する報告書

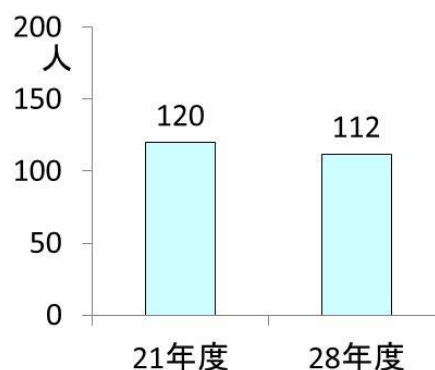
＜施策目標7＞ 男女共同参画の推進

「男女共同参画の推進」にむけて、平成20年度に男女共同参画プランを作成し、平成25年度に改訂しました。

プランに基づき、男女共同参画推推進講演会、まんのう町女性議会などの取り組みを継続推進しています。

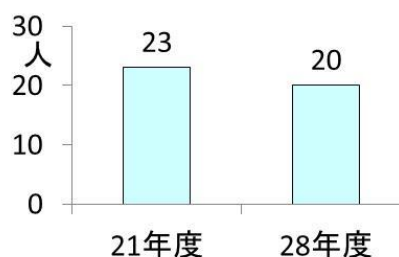
男女共同参画推推進講演会の参加者数、まんのう町女性議会の出席委員数は、おおむね横ばいから微減傾向で推移しています。

男女共同参画推推進講演会の参加者数



資料：主要施策の成果に関する報告書
(21年度は高松市副市長 岡内須美子氏、
28年度は元香川県公安委員会委員長 横井久子氏)

まんのう町女性議会の出席委員数

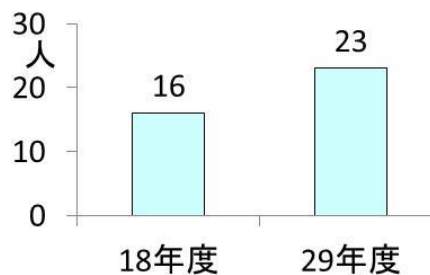


資料：主要施策の成果に関する報告書

＜施策目標8＞ 地域間交流・国際交流の推進

シンガポールへの中学生海外派遣事業の参加児童数は、29年度は23人と、18年度の16人より増加しています。

中学生海外派遣事業の参加児童数



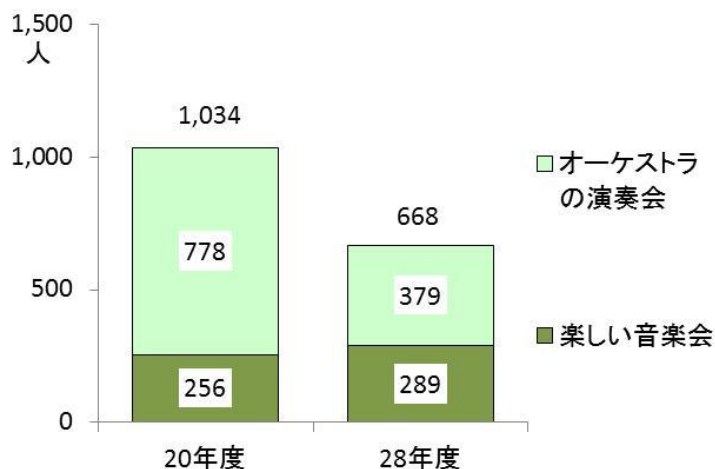
資料：主要施策の成果に関する報告書

<施策目標9> 芸術・文化の振興

町民が優れた芸術・文化にふれる機会を確保するため、毎年、プロのオーケストラによる森のコンサート事業などを開催しています。

森のコンサート事業の参加者数は、28年度は、20年度と比べると減少しています。

森のコンサート事業の参加者数



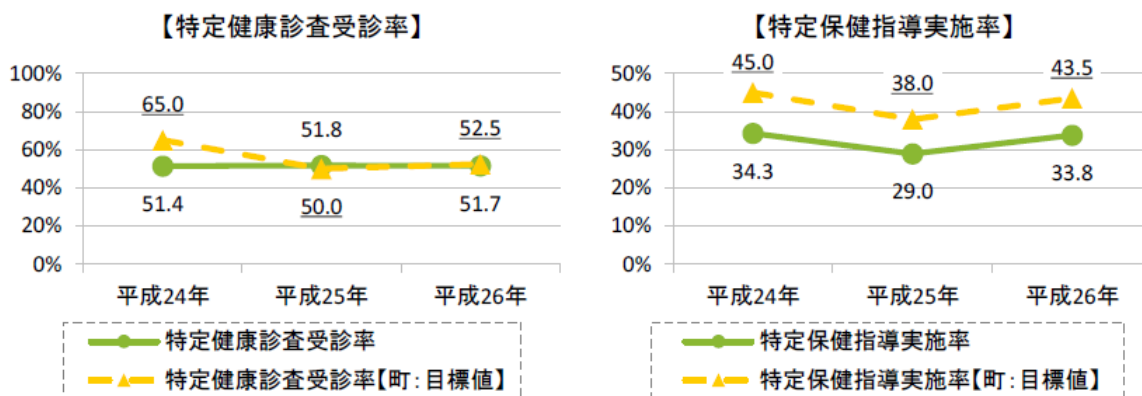
資料：主要施策の成果に関する報告書

<施策目標10> 健康づくりの推進

特定健診の受診率・特定保健指導の実施率は全国平均や県平均より高位で推移しています。

特定健診の受診率・特定保健指導の実施率

注記：特定健診受診率（平成25年） 国の平均値 34.3% 香川県の平均値 39.8%
 特定保健指導実施率（平成25年） 国の平均値 23.7% 香川県の平均値 21.7%

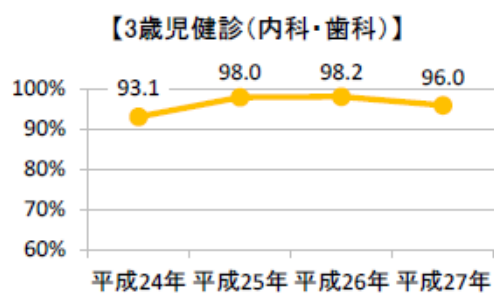
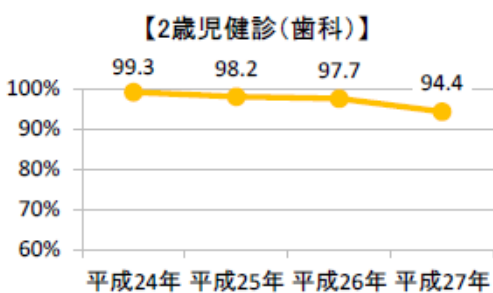
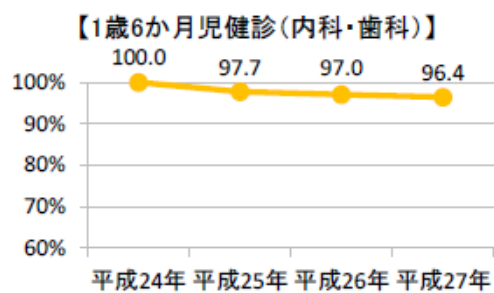
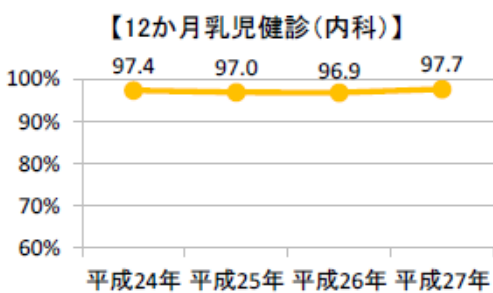
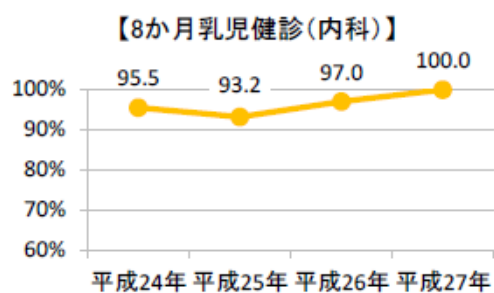
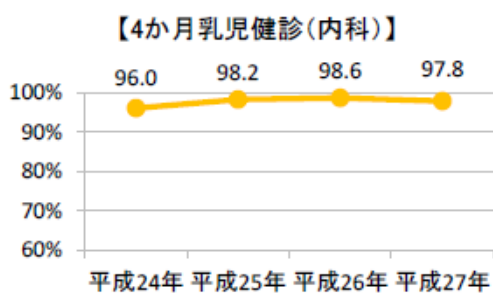


参照：特定健診・特定保健指導実施結果報告、特定健康診査等実施計画、香川の保健統計指標

資料：まんのう健やかいきいきプラン（第2次）より

乳幼児健診の受診率も高位で推移しています。

乳幼児健診の受診率



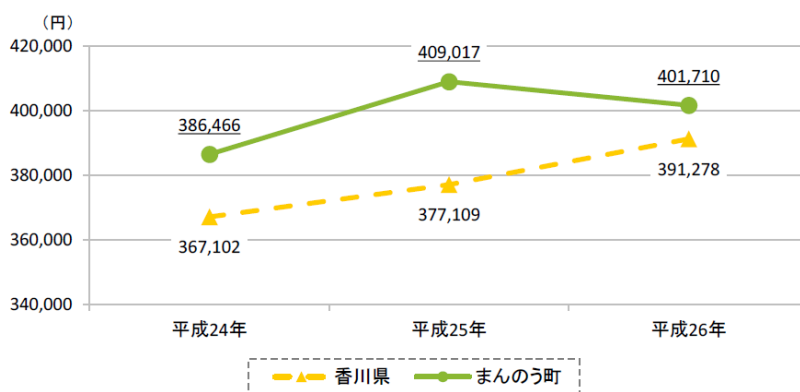
参照：かがわの母子保健

資料：まんのう健やかいきいきプラン（第2次）より

<施策目標 11> 地域医療体制の充実

1人当たり医療費は県平均より高位に推移しています。

国保被保険者 1人当たりの年間医療費

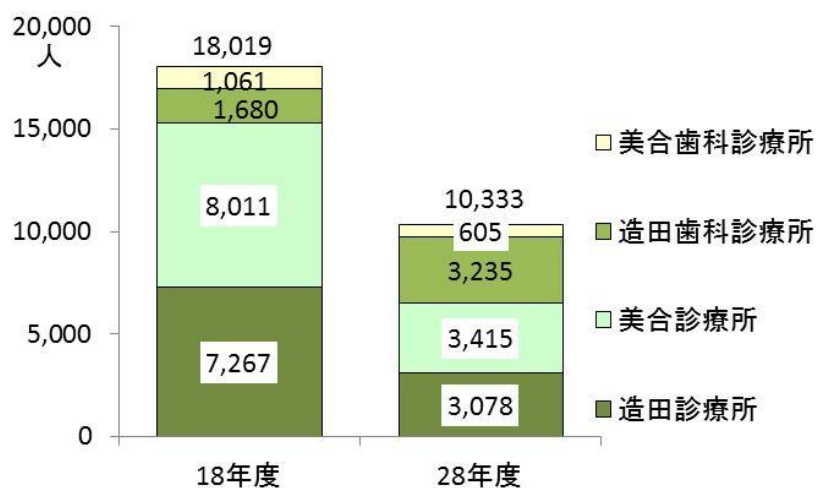


参照：香川県国民健康保険病類統計総合資料（平成26年度）

資料：まんのう健やかいきいきプラン（第2次）より

町立診療所の受診者数はこの10年で大幅に減少しています。

町立診療所の年間延受診者数



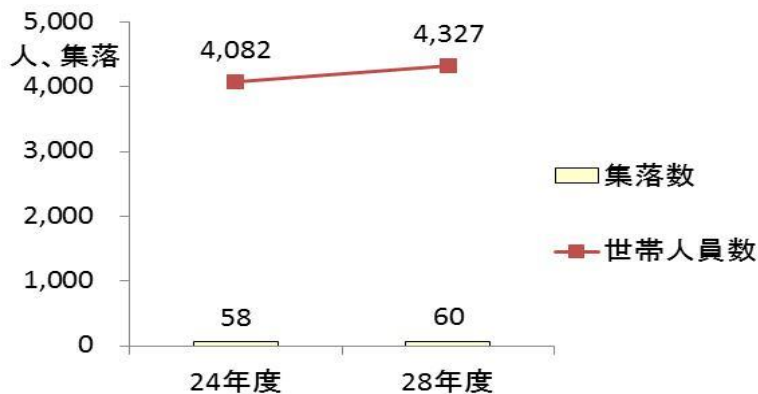
資料：主要施策の成果に関する報告書

＜施策目標 12＞ 地域福祉の推進

本町の地域福祉は、町社会福祉協議会を中心に、各地区の協力を得ながら展開しています。近年は、平成20年に「命見守りほっと安心のモデル集落事業」として開始し、平成24年から本格化した「見守り声かけ ほっと安心事業」を目玉事業として展開しています。

同事業の実施集落数・実施世帯の人員数は増加傾向で推移しています。

見守り 声かけ ほっと安心事業の実施集落数・実施世帯の人員数

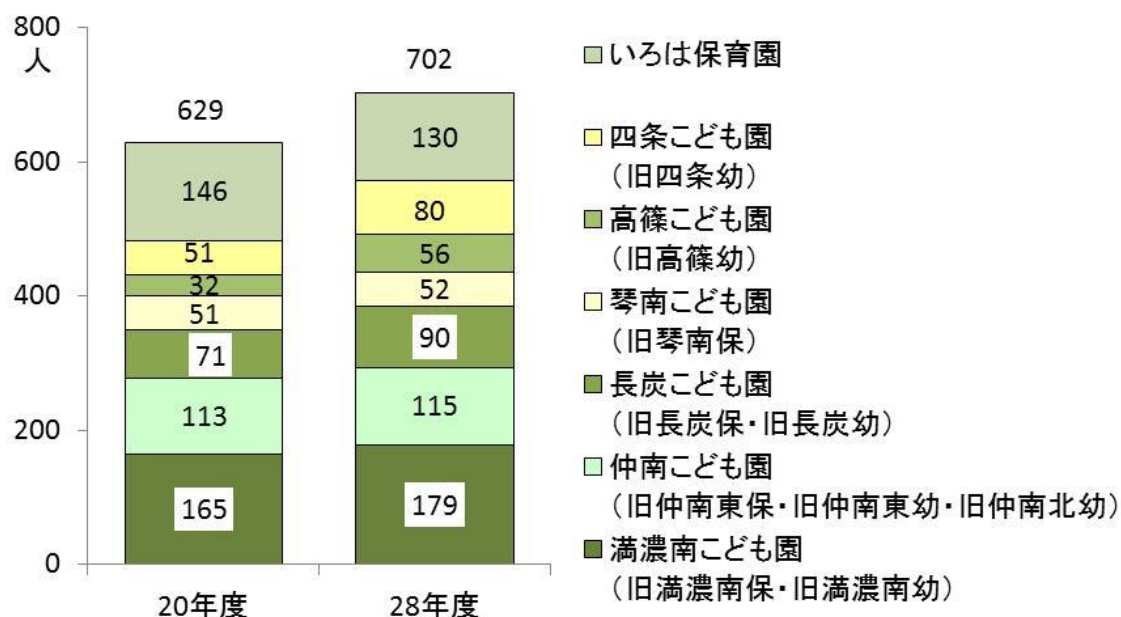


資料：社協だよりまんのうより

＜施策目標 13＞ 次世代育成の支援

保育園・幼稚園・こども園の児童数をみると、28年度は20年度に比べ、児童数は約1割増となっており、特に満濃地区の増加が著しくなっています。

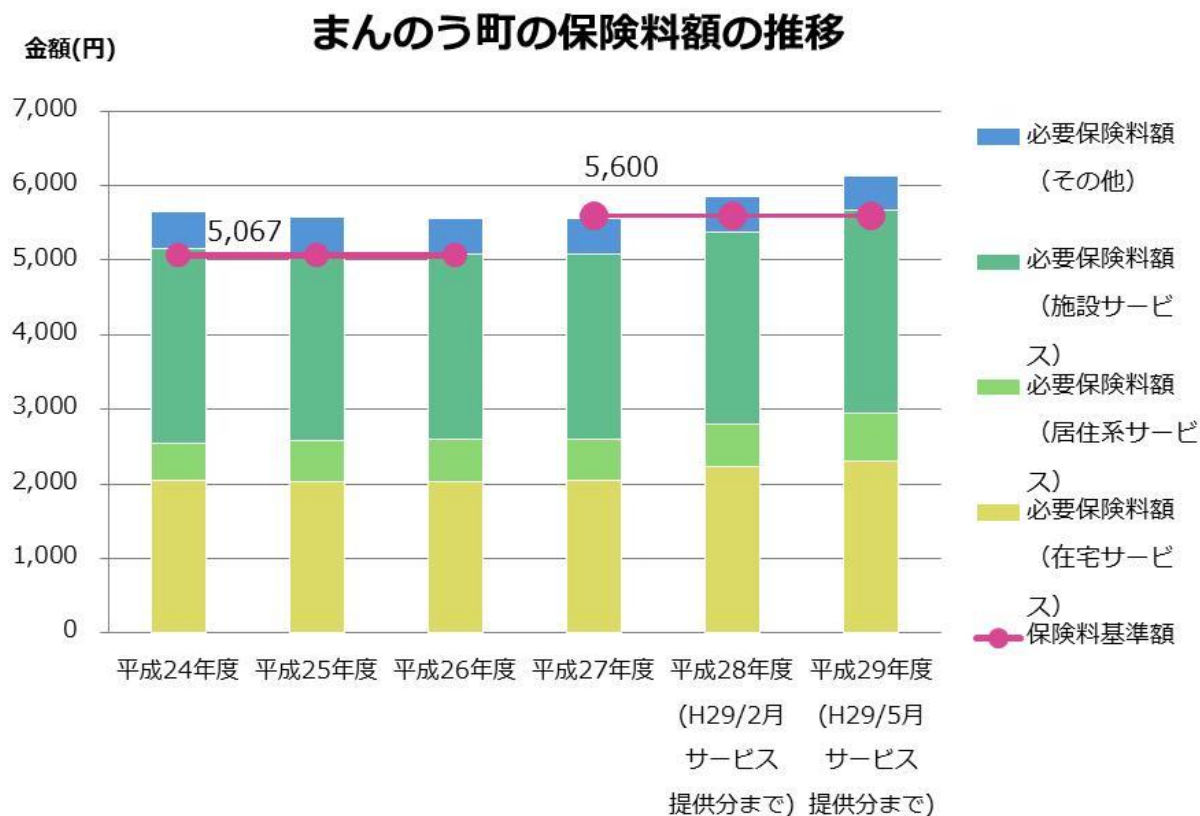
保育園・幼稚園・こども園の児童数



＜施策目標 14＞ 高齢者福祉の充実

介護保険事業は、3年を1期とする介護保険事業計画に基づき推進し、保険者として給付管理を行っています。

第1号被保険者の介護保険料基準額は、第5期（平成24～26年度）が月額5,067円、第6期（平成27～29年度）が5,600円で、実際のサービス利用は、想定した給付費見込みを上回って推移しています。県内3位、全国でも155位の高水準の利用となっています。



まんのう町の必要保険料額の降順		
(平成29年 5月末時点)		
香川県内	3番目	17保険者
全国	155番目	1,576保険者

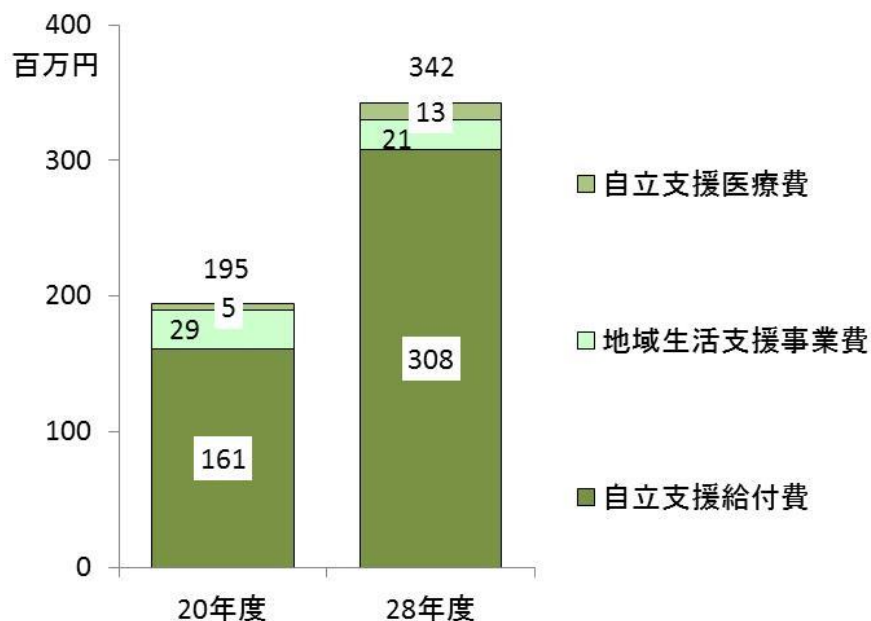
資料：厚生労働省「地域包括ケア見える化システム」

<施策目標 15> 障がい者福祉の充実

平成18年に障害者自立支援法による障害福祉サービスの提供が開始され、10年間で国の財政支出は倍増しています。

本町でも自立支援給付費等は平成20年度の約2億円から平成28年度には約3.4億円と大幅に増加しています。

まんのう町の障がい者福祉関係事業費の推移

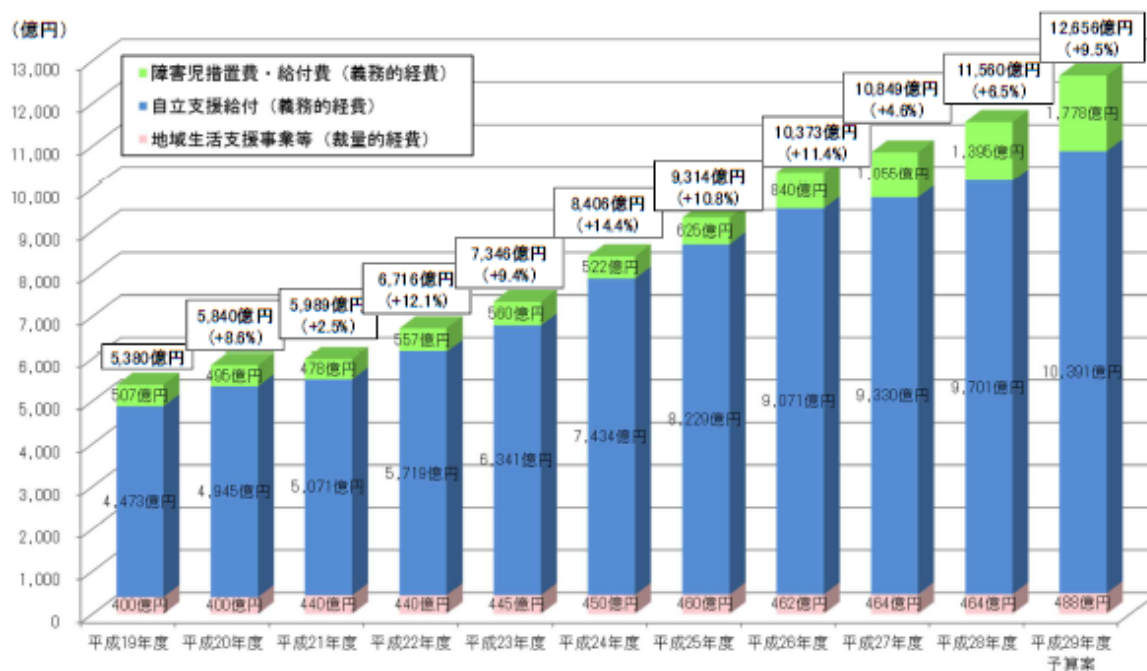


資料：主要施策の成果に関する報告書

〔参考〕国の障がい福祉サービスの予算の推移

障害福祉サービス等予算の推移

障害福祉サービス関係予算額は10年間で2倍以上に増加している。



資料：厚生労働省

<施策目標 16> 低所得者福祉・勤労者福祉の充実

略。

<施策目標 17> 社会保険（国保、介護）の安定化

国民医療費は、この10年間も着実に増加し、40兆円規模になっています。その3分の1を後期高齢者医療費が占めています。

平成20年度から、老人保健制度に変わり、後期高齢者医療制度が導入され、財政運営が都道府県化され、これにより、まんのう町の関連会計の歳出規模も縮小しています。

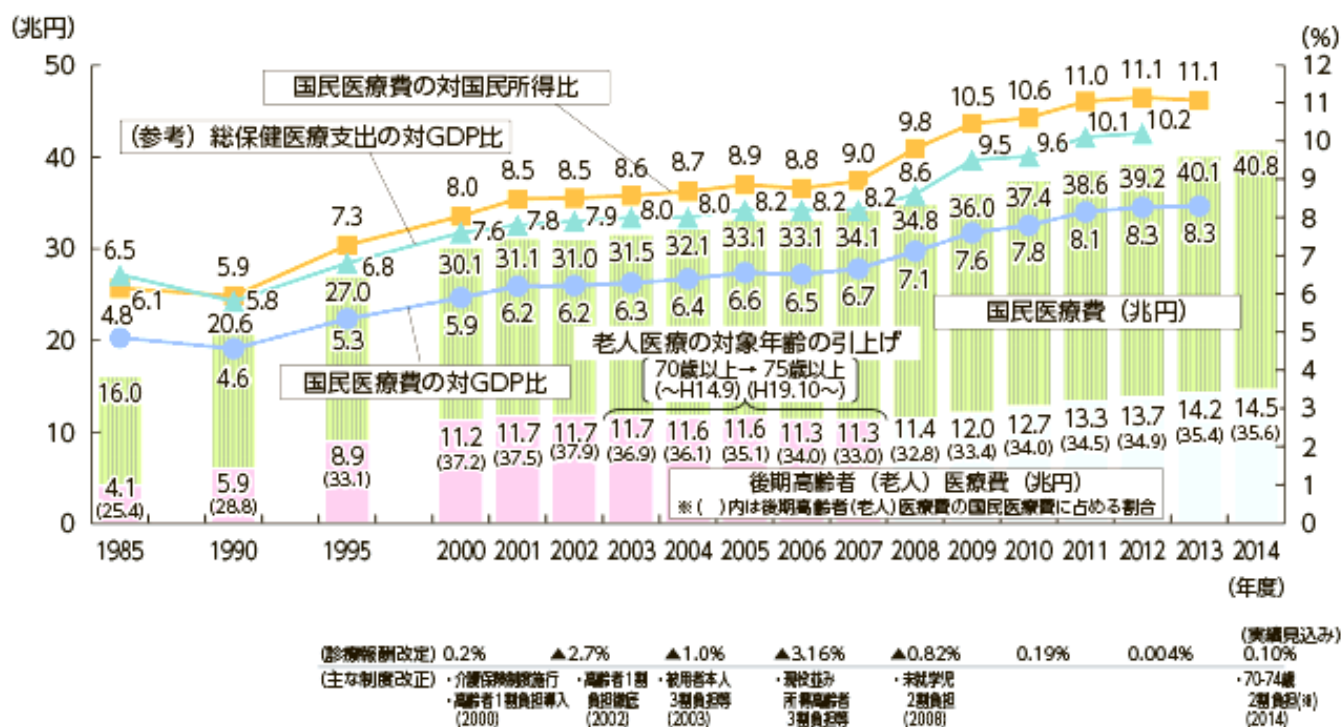
一方、まんのう町の国民健康保険給付費、介護給付費は10年間で着実に増加しています。しかし、給付適正化に努めた結果、比較的伸びは緩やかになっています。

まんのう町の医療・介護給付関連特別会計 の歳出額の推移（百万円）

	20年度	28年度
国民健康保険	2,231	2,462
後期高齢者医療・老人保健	540	247
診療所運営	122	107
介護保険	1,897	2,388
合計	4,790	5,204

資料：主要施策の成果に関する報告書

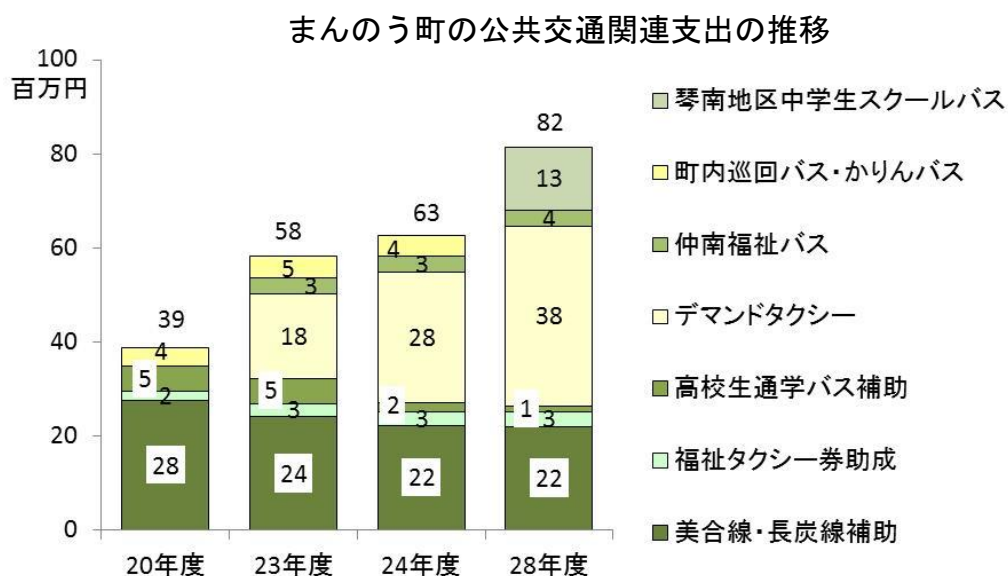
〔参考〕国民医療費の推移



資料：平成28年版厚生労働白書

<施策目標 18> 交通網の整備・充実

公共交通対策は、平成21年からデマンドタクシーを導入するなど、様々な施策を展開し、町民の利便の向上に努めています。関連支出も増加傾向で推移しています。

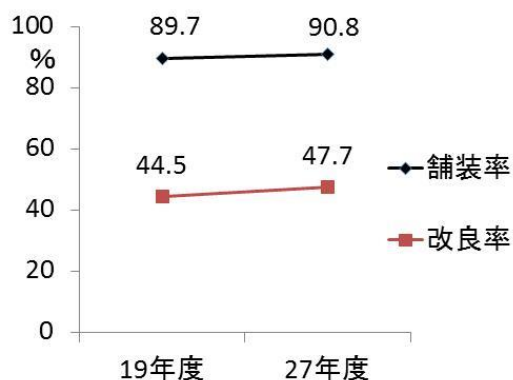


資料：主要施策の成果に関する報告書

町道の舗装率、改良率は、年次整備により改善しています。

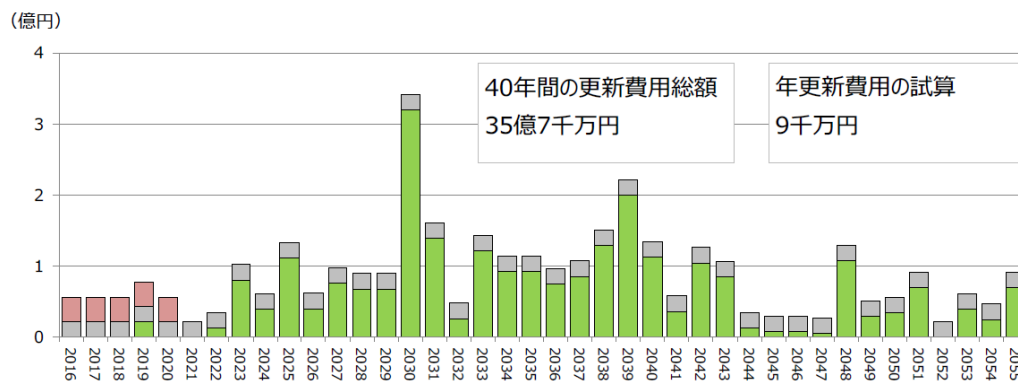
しかし、この間の主要課題は、新規投資から更新投資に軸足が移行し、橋梁長寿命化などを順次進めていく必要があります。

町道の舗装率、改良率の推移



資料：まんのう町データブック

〔参考〕町道の橋梁の更新費用の長期的な試算



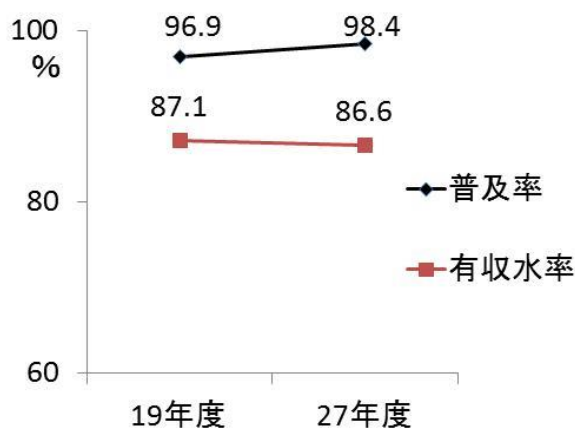
資料：まんのう町公共施設等総合管理計画

<施策目標 19> 生活基盤の整備

水道の普及率・有収水率の推移をみると、普及率は向上するも、有収水率があまり改善していない状況です。老朽管の更新等を引き続き推進し、安定供給・安定経営に努めることが求められます。

下水道は、平成28年3月時点の汚水処理人口普及率が68.1%と県平均74.3%を下回っています。全国的にはこの10年で10%程度上昇し、約9割となっており、まんのう町でも一層の普及を促進する必要があります。

水道の普及率・有収水率の推移



資料：まんのう町データブック

県内市町の生活排水処理施設の普及状況

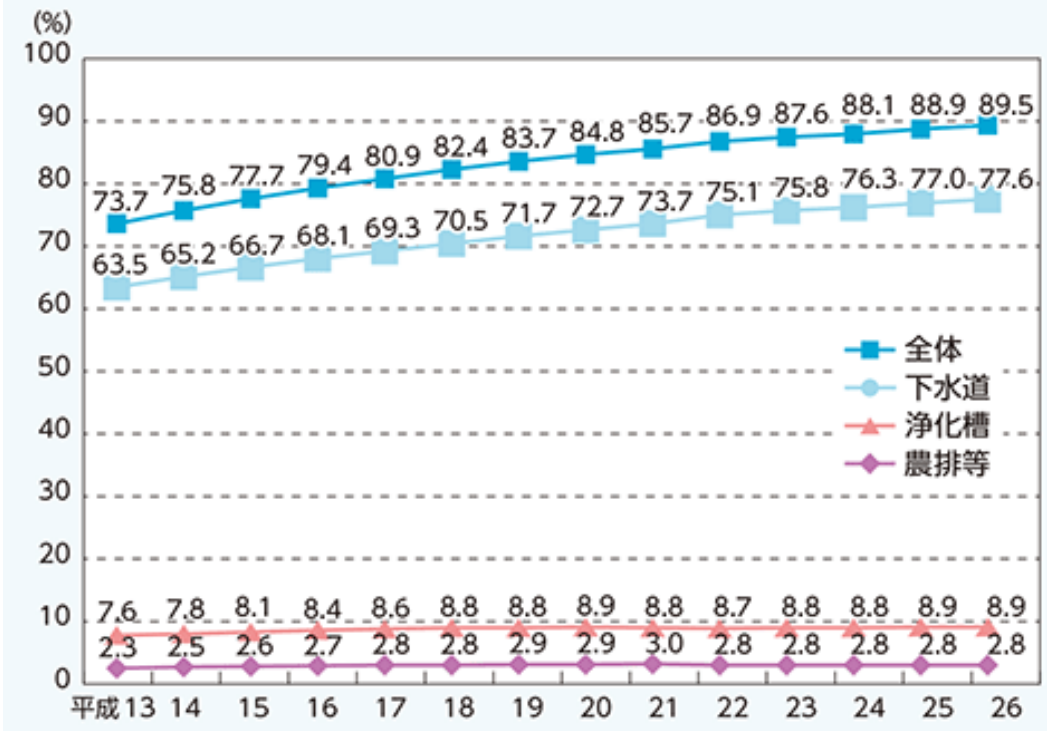
<2-9>生活排水処理施設の普及状況（平成28年3月31日現在）【第5章第3節】【環境管理課】

市町名	住民基本台帳人口 (人)	汚水処理人口 (人)	汚水処理人口普及率 (%)	下水道		農業・漁業集落排水		合併処理浄化槽		コミュニティ・プラント	
				普及人口 (人)	普及率 (%)	普及人口 (人)	普及率 (%)	普及人口 (人)	普及率 (%)	普及人口 (人)	普及率 (%)
高松市	427,400	364,711	85.3	270,253	63.2	172	0.0	94,211	22.0	75	0.0
丸亀市	113,586	79,828	70.3	50,385	44.4	2,941	2.6	26,502	23.3		
坂出市	54,595	28,845	52.8	13,008	23.8			15,837	29.0		
善通寺市	32,717	28,449	87.0	19,034	58.2	451	1.4	8,533	26.1	431	1.3
観音寺市	61,896	35,593	57.5	11,760	19.0	693	1.1	23,140	37.4		
さぬき市	50,691	44,207	87.2	23,690	46.7	3,399	6.7	17,118	33.8		
東かがわ市	32,218	21,828	67.8	572	1.8	5,878	18.2	15,378	47.7		
三豊市	67,883	36,904	54.4			2,777	4.1	34,127	50.3		
土庄町	14,633	5,069	34.6			363	2.5	4,706	32.2		
小豆島町	15,420	7,021	45.5					7,021	45.5		
三木町	28,603	12,591	44.0			654	2.3	11,937	41.7		
直島町	3,144	3,097	98.5	2,939	93.5			158	5.0		
宇多津町	18,439	18,012	97.7	16,264	88.2			1,748	9.5		
綾川町	24,657	18,062	73.3	9,504	38.5	132	0.5	8,426	34.2		
琴平町	9,505	6,924	72.8	4,475	47.1			2,449	25.8		
多度津町	23,754	17,530	73.8	14,503	61.1			3,027	12.7		
まんのう町	19,365	13,182	68.1	2,390	12.3	503	2.6	10,289	53.1		
県計	998,506	741,853	74.3	438,777	43.9	17,963	1.8	284,607	28.5	506	0.1

資料香川県環境白書

〔参考〕 全国の汚水処理人口普及率の推移

図4-4-3 汚水処理人口普及率の推移



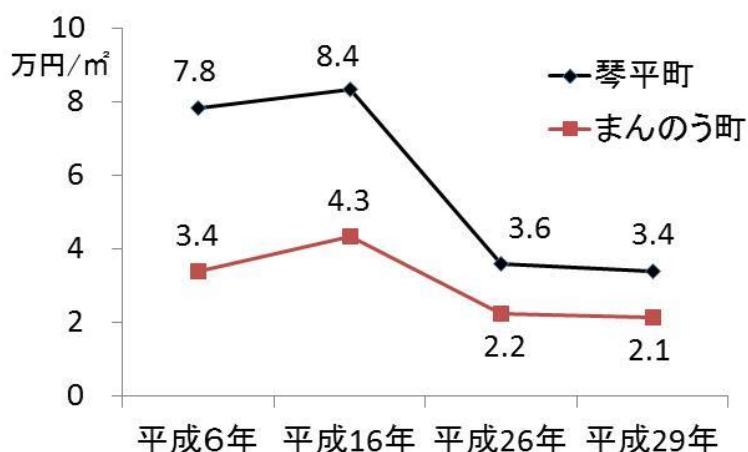
資料：平成28年版環境白書・循環型社会白書・生物多様性白書

<施策目標 20> 住環境の整備

公示地価は低減傾向で推移しています。このことは、土地所有者にとっては資産の減少を意味し、町財政にとっても固定資産税の減収につながります。

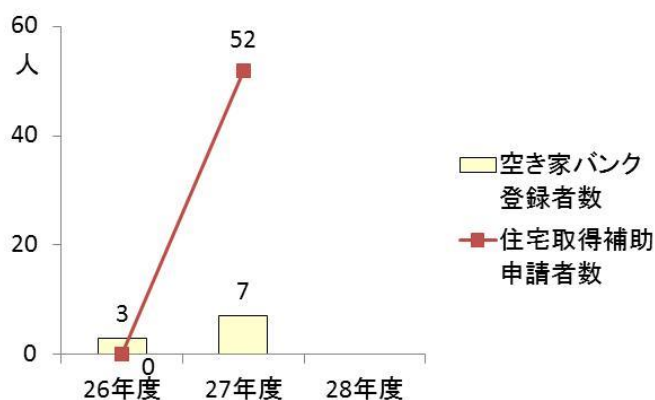
一方、土地を求める層にとっては、安く購入し、維持できることを意味し、地価を理由とした近隣市町から転入の動きも現に起こっています。

まんのう町と琴平町の公示地価の総平均の推移



空き家バンク登録者数、若者住宅取得補助申請者数ともに、堅調に増加しています。

空き家バンク登録者数と
若者住宅取得補助申請者数の推移

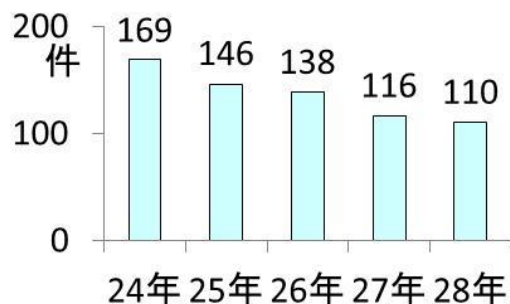


資料：まんのう町まち・ひと・しごと創生
総合戦略P D C Aマネジメント報告書

＜施策目標 21＞ 生活安全対策の充実

まんのう町も全国も、交通事故は減少傾向で推移しています。

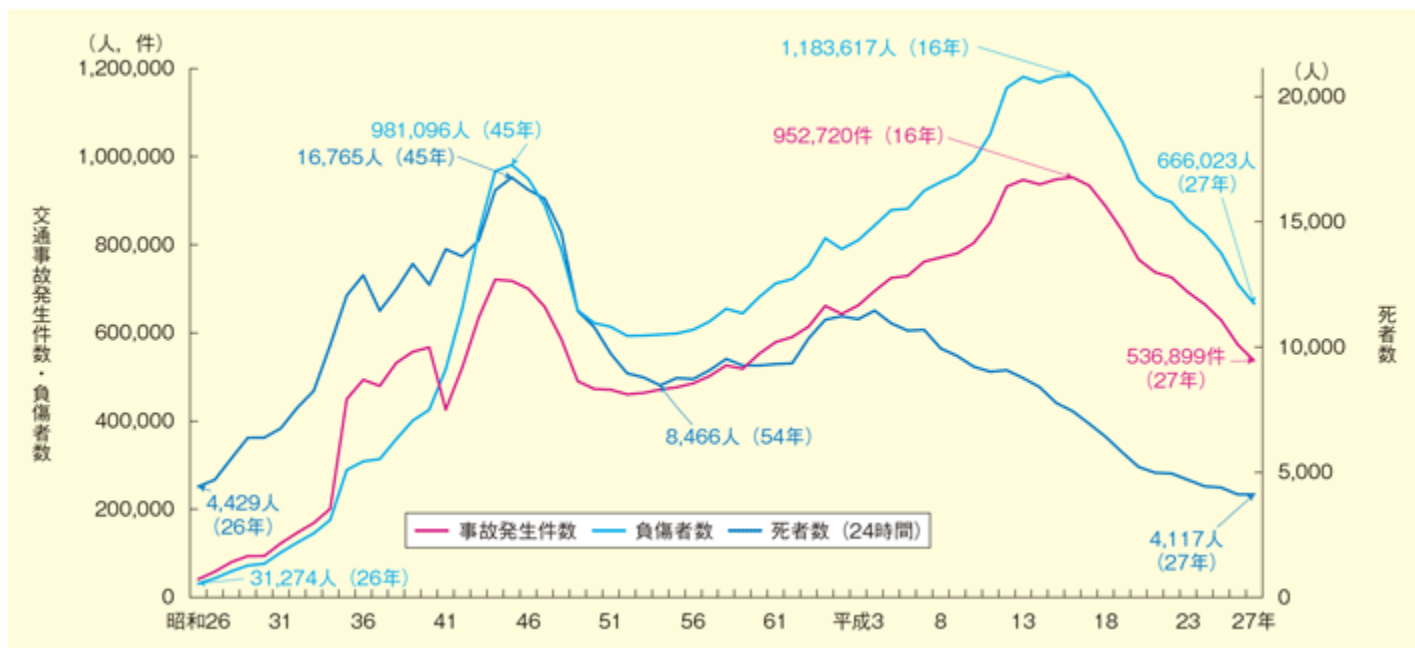
まんのう町の交通事故発生件数



資料：まんのう町データブック、100の指標からみた市町ほか

〔参考〕 全国の交通事故発生件数

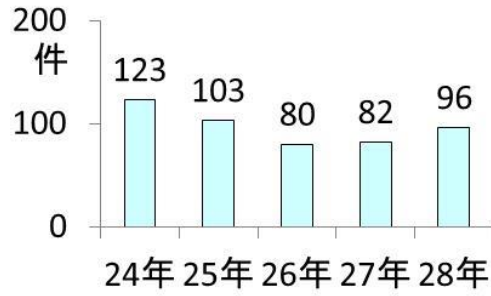
▶ 特集-第1図 道路交通事故による交通事故発生件数、死者数及び負傷者数



資料：平成28年交通安全白書

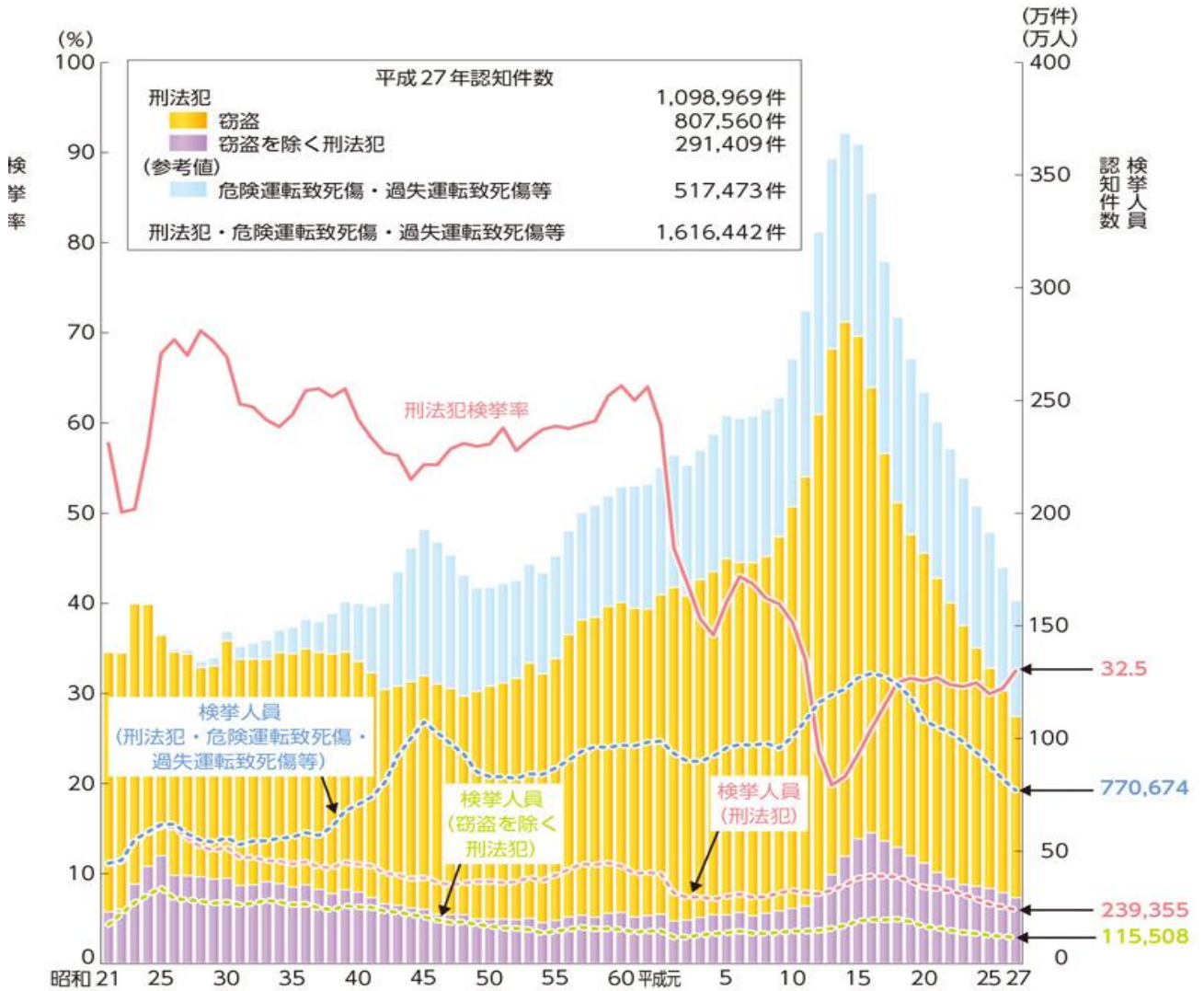
犯罪発生件数は、26年まで減少し、その後、増加に転じています。

まんのう町の交通事故発生件数



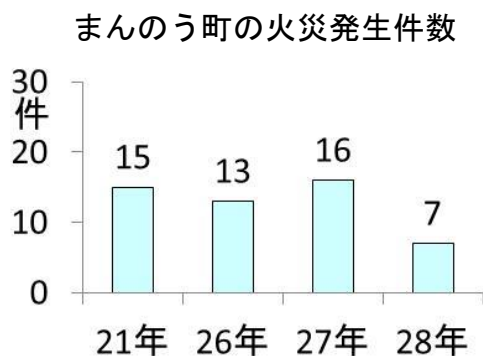
資料：まんのう町データブック、100の指標からみた市町ほか

〔参考〕全国の犯罪発生件数等



資料：平成 28 年犯罪白書

消防・救急については、毎年、10～20件程度の火災が発生し、また、年間1,000件程度の救急出動があります。

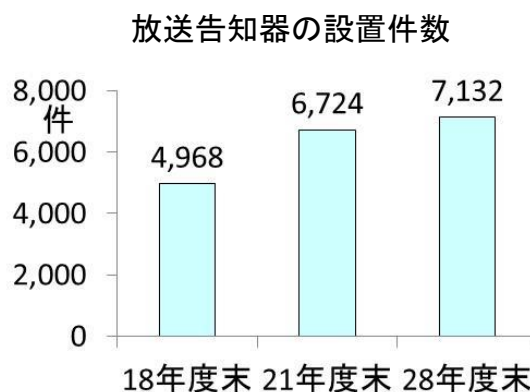


資料：仲多度南部消防組合消防年報ほか

<施策目標 22> 情報・通信基盤の整備と活用

平成20年度に、テレビ放送地デジ化への移行や高速ブロードバンドのニーズを受け、町全域に光ファイバを敷設し、中讃ケーブルビジョン株式会社と協働で地デジ対応、高速ブロードバンド化を図るとともに、これに対応した放送告知器（音声のみ）を1世帯に1台ずつ貸与しています。

放送告知器の設置件数は増加傾向で推移しています。



資料：主要施策の成果に関する報告書

<施策目標 23> 農林業の振興

平成27年の農林業センサスによると、まんのう町の農作物の作付面積は、水稻が1,141 ha、大麦・裸麦が137 haで、ともに県全体の10分の1を占めます。大豆も県全体の5分の1を占めます。

野菜・果樹では、大規模な作付作物はないものの多品種を栽培しています。畜産では、豚の飼養はないものの、それ以外は県内の主力産地となっており、特に、ひまわりをえさに飼養するまんのうひまわり牛が近年、市場に定着しています。

まんのう町での販売目的の農作物作付面積と畜産飼養頭羽数（平成27年）

〔穀類〕

	まんのう町	香川県
水 稻	1,141	11,327
小 麦	94	1,480
大麦・裸麦	137	912
そ ば	1	17
その他の雑穀	1	10
ばれいしょ	2	12
かんしょ	0	64
大 豆	12	63
小 豆	0	3
その他の豆類	0	14

〔果樹〕

	まんのう町	香川県
温州みかん	8	672
その他かんきつ	0	154
ぶ どう	X	97
日 本 な し	X	26
も も	2	139
おうとう	X	1
び わ	X	30
か き	7	102
く り	3	15
う め	2	7
す も も	X	5
キウイフルーツ	X	28
その他の果樹	6	34

〔野菜〕

	まんのう町	香川県
だ い こ ん	4	89
に ん じ ん	X	73
さ と い も	X	18
やまのいも	0	3
は く さ い	X	20
キャベツ	9	180
ほうれんそう	6	41
レタス	X	732
ね ぎ	X	243
たまねぎ	X	136
ブロッコリー	X	636
きゅうり	2	62
な す	X	25
トマト	2	38
ピーマン	0	4
いちご	X	72
すいか	0	6
その他の野菜	29	380

〔畜産〕

	まんのう町	香川県
乳用牛	618	4,995
肉用牛	X	14,191
豚	-	37,233
採卵鶏	135,800	4,579,400
ブロイラー	734,000	8,214,300

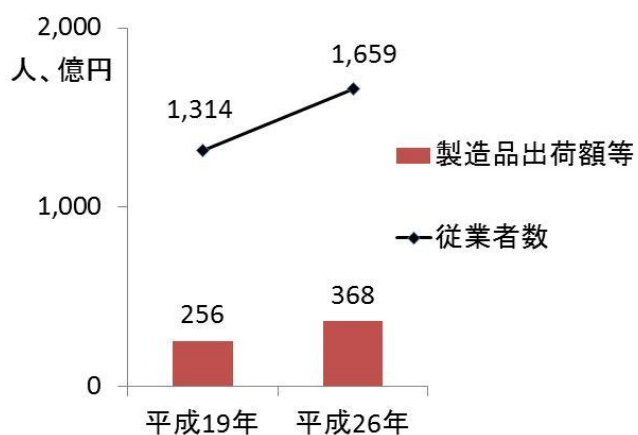
Xは作付農家が少ないため特定されないようデータを秘匿化。-は値がゼロ。0は0.5ha未満。

資料：農林水産省「平成27年世界農林業センサス」

＜施策目標 24＞ 商工業の振興と雇用創出

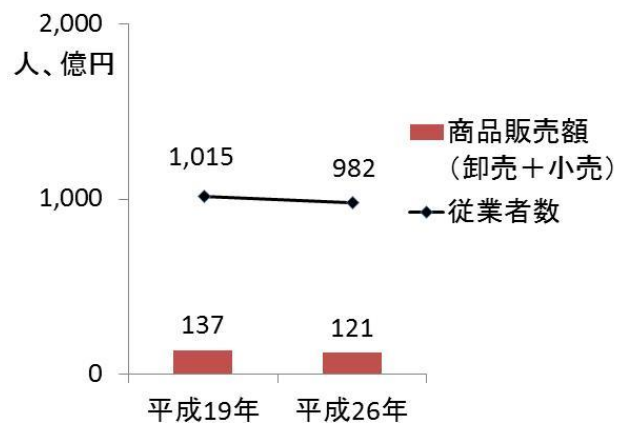
製造業は、従業者数、製造品出荷額等ともに増加傾向で推移しています。
卸売・小売商業は、従事者数、商品販売額ともに減少傾向で推移しています。

製造業従事者数・製造品出荷額等



資料：工業統計調査

商業従事者数・商品販売額



資料：19年は商業統計調査、26年は経済センサス

＜施策目標 25＞ 観光の振興

27年度の主要な観光地の入込客数は、国営讃岐まんのう公園が55.4万人などとなっています。

まんのう町の主要な観光地の入込客数（万人）

	23年度	27年度
国営讃岐まんのう公園	42.7	55.4
エピアみかど	14.8	15.3
仲南道の駅	22.0	17.5
満濃池森林公園	12.7	14.4
塩入温泉	12.8	12.1

資料：主要施策の成果に関する報告書

＜施策目標 26＞ 行財政の健全化

職員数は、定員管理を推進し、合併直後から約40人の減となっています。
財政指標は、積立金が大幅に増加するなどおおむね堅調に推移しています。

行財政の各種指標の状況

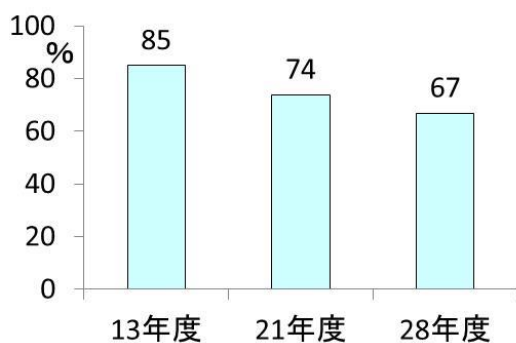
	単位	19年度	27年度
職員数	人	221	181
積立金現在高	億円	25.7	70.5
地方債現在高	億円	100.6	123.6
実質公債費比率	%	14.2	8.4
経常収支比率	%	89.7	84.8
財政力指数	-	0.40	0.37
地方税徴収率	%	97.1	97.8

資料：決算カード

＜施策目標 27＞ 住民自治の確立と支援

自治会加入率は年々減少傾向となっています。まちづくりにコミュニティの活性化は不可欠であり、振興を図っていく必要があります。

まんのう町の自治会加入率の推移



＜施策目標 28＞ 協働・連携の推進

略。